

魅力あるまちづくりに関する
市民アンケート
報 告 書

令和4年3月

木更津市

I. 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査方法	1
4. この報告書の見方	1

II. 調査の結果

1. 回答者の属性	3
2. 木更津市へのイメージについて	
（1）木更津市への愛着や誇り	6
（2）木更津市の愛着や誇りを感じるもの	9
（3）木更津市の住みごころ	12
（4）住んでいて良いところ	13
（5）住んでいて良くないところ	14
（6）定住意向	15
3. 木更津市の取り組みについて	
（1）「オーガニックなまちづくり」の認知度	18
（2）「SDGs」の認知度	20
（3）キャッシュレス決済の普及度	21
（4）新型コロナウイルス感染症の影響下において、今後市に期待する取組	22
（5）市民活動の参加状況	23
（6）市民活動に対する市の取り組みの満足度	26
（7）市民活動を広めるための市の取り組み	27
4. 行政サービスに関する満足度、今後の優先度について	
（1）行政サービスに関する現在の満足度と今後の優先度	28
（2）現在の満足度と今後の優先度の加重平均による分析	31
（3）現在の満足度と今後の優先度の相関	34
5. 木更津市の情報について	
（1）木更津市に関する情報の入手方法	35
（2）「きさらづ安心・安全メール」の登録状況	37
（3）「きさらづ安心・安全メール」に登録していない理由	39
（4）木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体	40
（5）木更津市に関する情報でより充実してほしい内容	42

III. 調査結果の概要と考察	44
-----------------	----

I. 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、木更津市民を対象に、木更津市のイメージ、これまでの市の取り組みに対する満足度や今後の優先度などを把握し、市政に反映させることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 木更津市へのイメージについて
- (2) 木更津市の取組について
- (3) 行政サービスに関する満足度、今後の優先度について
- (4) 木更津市の情報について
- (5) 回答者の属性

3. 調査方法

- (1) 調査対象 木更津市に居住する満18歳以上の市民
- (2) 抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 有効回収数 1,045人（うちweb回答 195人）（有効回収率 52.2%）
- (5) 調査方法 郵送配布、郵送及びWeb回答による回収
- (6) 調査期間 令和3年12月1日（火）～12月31日（金）

4. この報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、質問に対する回答者数を示す。
- (2) 回答の比率（％）は、nを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
このため、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問では、すべての選択肢の比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 図表作成の便宜上、一部の選択肢を省略して表記している場合がある。
- (5) 年齢別、職業別などのクロス集計では、nが小さい場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。特にnが30未満である層については、他の層と比べて顕著な傾向の違いがある場合でも、説明の文章ではふれていない。
- (6) 年齢別、職業別などのクロス集計では、年齢や職業などの分析項目となる質問に無回答であった層の結果を表示していない。したがって、すべての層の回答者数（n）の合計は、全体の回答者数（n）と一致しない場合がある。

(7) 質問によっては、平成30年6月及び令和2年7月に今回調査と同じ調査方法で実施した「まちづくりに関する市民アンケート調査」の結果との比較を行った。

(8) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \quad \left(\begin{array}{ll} b = \text{標本誤差} & N = \text{母集団数} \\ P = \text{回答比率} & n = \text{比率算出の基数 (サンプル数)} \end{array} \right)$$

上記の計算式に基づく標本誤差の早見表は以下のとおりである。

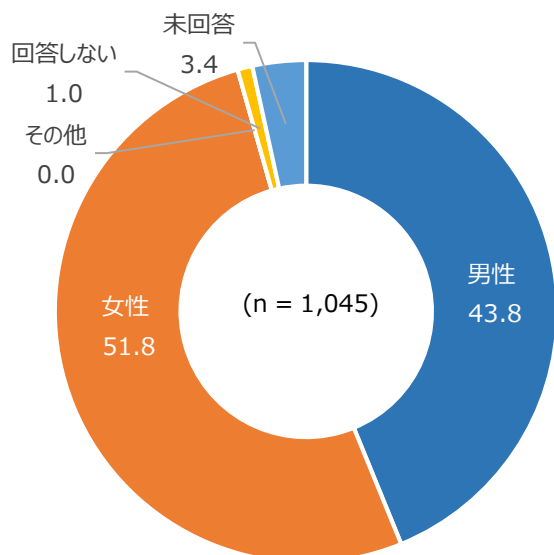
回答比率 (P) 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1045人	± 1.86%	± 2.47%	± 2.84%	± 3.03%	± 3.09%
700	± 2.27%	± 3.02%	± 3.46%	± 3.70%	± 3.78%
500	± 2.68%	± 3.58%	± 4.10%	± 4.38%	± 4.47%
300	± 3.46%	± 4.62%	± 5.29%	± 5.66%	± 5.77%
200	± 4.24%	± 5.66%	± 6.48%	± 6.93%	± 7.07%
100	± 6.00%	± 8.00%	± 9.17%	± 9.80%	± 10.00%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。

Ⅱ. 調査の結果

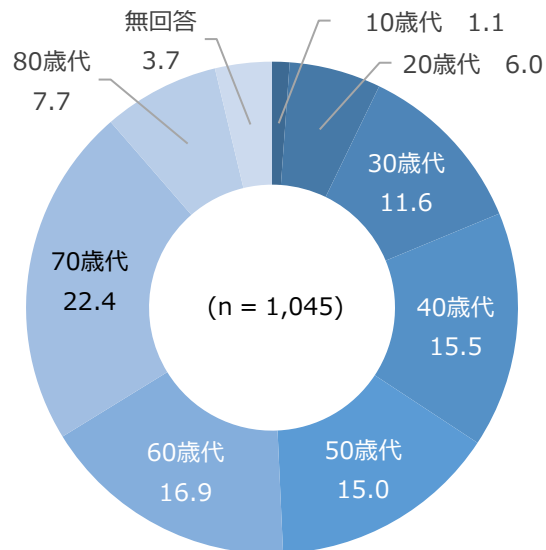
1. 回答者の属性

(1) 性別



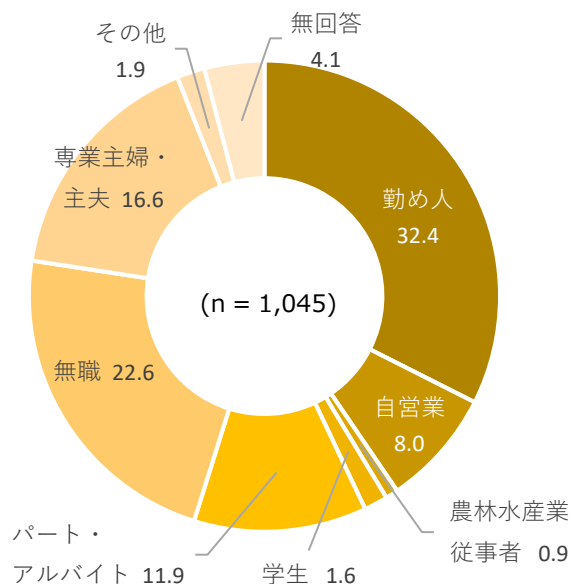
性別は、男性が43.8%、女性が51.8%となっている。

(2) 年齢



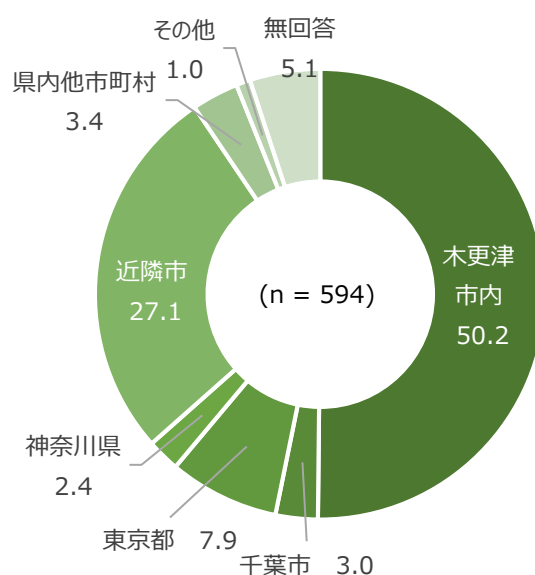
年齢は、70歳代が22.4%で最も高く、次いで60歳代が16.9%、40歳代が15.5%、50歳代が15.0%の順となっている。

(3) 職業



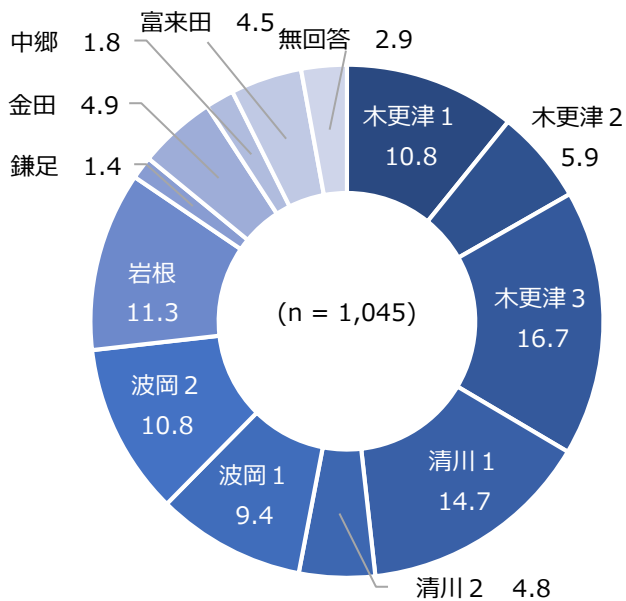
職業は、勤め人（会社員、公務員、団体職員等）が32.4%で最も高く、次いで無職が22.6%、専業主婦・主夫が16.6%、パート、アルバイトが11.9%の順となっている。

(4) 通勤・通学先



(3) 職業で専業主婦、主夫または無職以外と回答した方の通勤・通学先は、木更津市内が50.2%で最も高く、次いで近隣市（市原市、袖ヶ浦市、君津市、富津市）が27.1%、東京都が7.9%の順となっている。

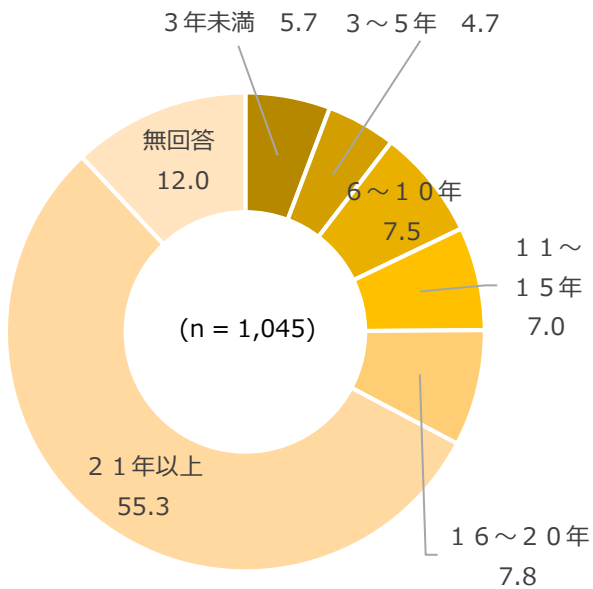
(5) 居住地区



居住地区は、木更津3地区が16.7%で最も高く、次いで清川1地区が14.7%、岩根地区が11.3%の順となっている。

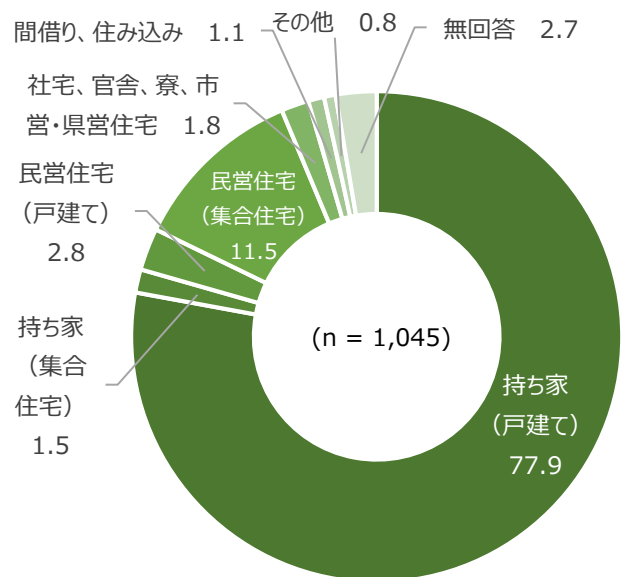
地区名	該当する町名
木更津1	新田、富士見、中央、新宿、吾妻、朝日、木更津、東中央、大和
木更津2	文京、貝淵、潮見、幸町、桜町、桜井、桜井新町、潮浜、木材港
木更津3	請西、請西東、請西南、真舟、千束台、太田、東太田
清川1	長須賀、永井作、清見台、清見台東、清見台南、祇園
清川2	菅生、清川、椿、笹子、日の出町、犬成、中尾、伊豆島、ほたる野
波岡1	畑沢、畑沢南、港南台、小浜
波岡2	大久保、上烏田、中烏田、下烏田、八幡台、羽鳥野
岩根	岩根、西岩根、高砂、本郷、高柳、若葉町、万石、久津間、江川、中里
鎌足	矢那、草敷、かずさ鎌足
金田	中島、瓜倉、畔戸、牛込、中野、北浜町、金田東
中郷	上望陀、下望陀、有吉、大寺、十日市場、井尻、曾根、牛袋野、牛袋
富来田	大稲、真里、下内橋、戸国、茅野、茅野七曲、山本七曲、真里谷、田川、佐野、下郡、根岸、上根岸、下宮田

(6) 居住期間



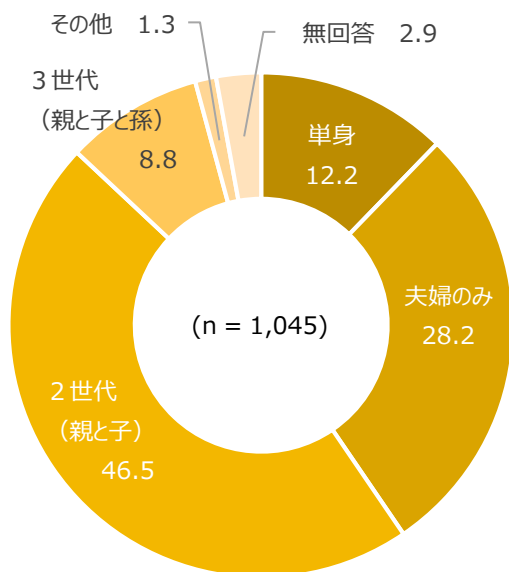
居住期間は、21年以上が55.3%で最も高く、次いで16～20年が7.8%、6～10年が7.5%、次いで11～15年が7.0%の順となっている。

(7) 居住形態



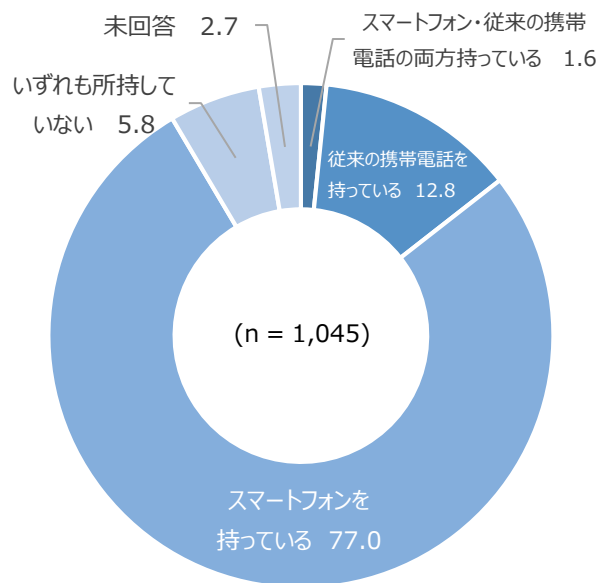
居住形態は、持ち家(戸建て)が77.9%で最も高く、次いで民間住宅(アパートなどの集合住宅)が11.5%の順となっている。

(8) 家族構成



家族構成は、2世代（親と子）が46.5%で最も高く、次いで夫婦のみが28.2%、単身が12.2%、3世代（親と子と孫）が8.8%の順となっている。

(9) 通信機器所持状況

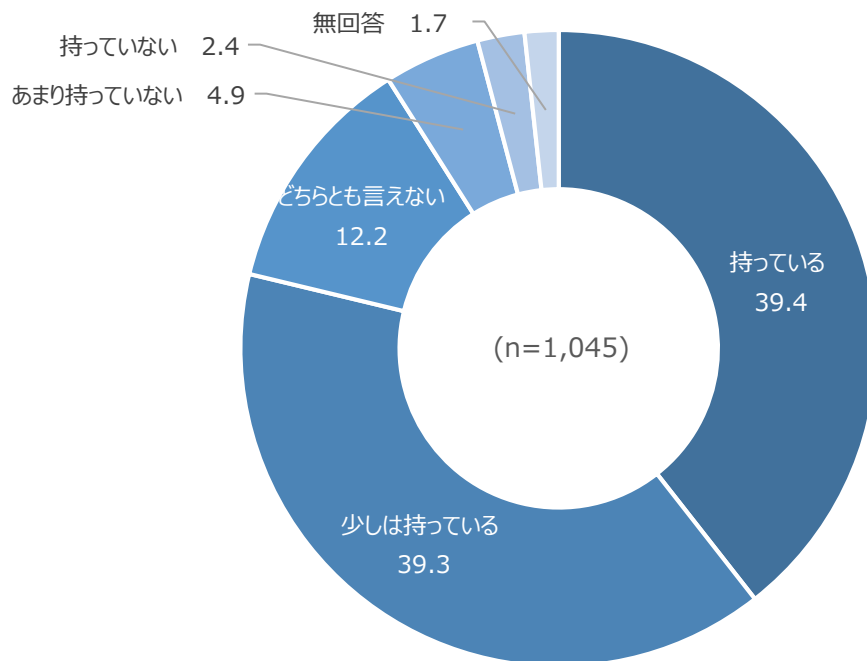


通信機器所持状況は、「スマートフォンを持っている」が78.7%で最も高く、「従来の携帯電話を持っている」が14.4%、「いずれも所有していない」が5.8%となっている。

2. 木更津市へのイメージについて

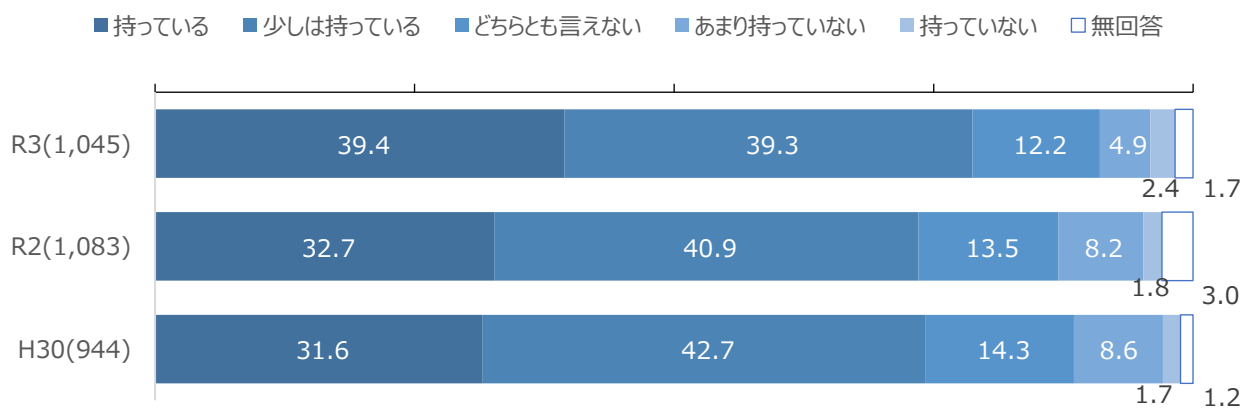
(1) 木更津市への愛着や誇り

問1. あなたは、木更津市に対して愛着や誇りを持っていますか。(✓は1つだけ)



木更津市への愛着や誇りについては、「持っている」(39.4%)と「少しは持っている」(39.3%)を合わせた『持っている(計)』が78.7%と高くなっている。「どちらとも言えない」は12.2%で、「あまり持っていない」(4.9%)と「持っていない」(2.4%)を合わせた『持っていない(計)』は7.3%となっている。

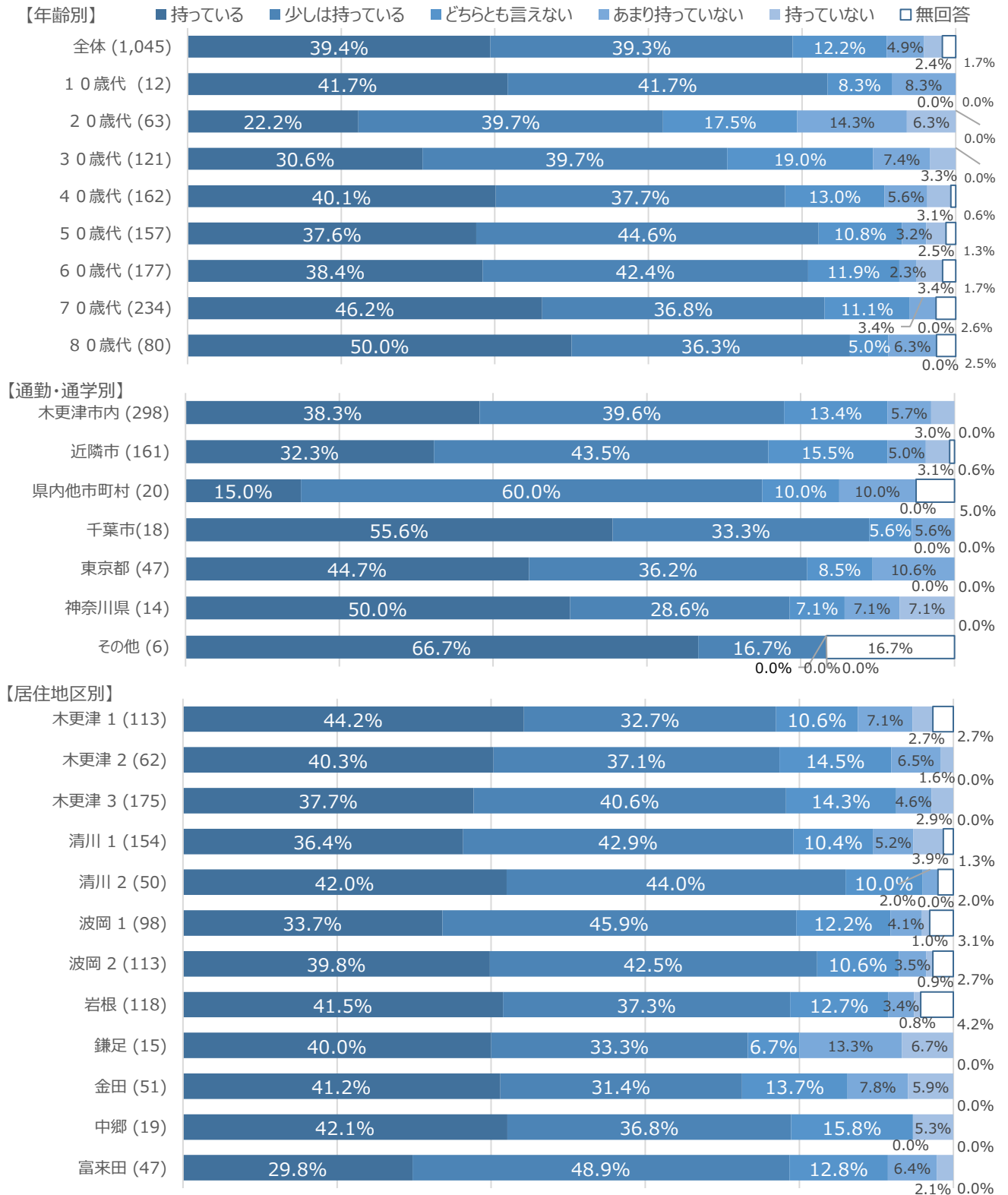
[過去調査との比較]



(※)「持っている」、「少しは持っている」、「あまり持っていない」、「持っていない」は過去調査(R2、H30)ではそれぞれ「愛着や誇りを感じている」、「少しは愛着や誇りを感じている」、「あまり愛着や誇りを感じていない」、「全く愛着や誇りを感じない」としていた。

過去調査との比較は、一部の選択肢が変更されているため参考にとどまるが、「持っている」と「少しは持っている」を合わせた『持っている(計)』が73.6%(R2)から78.7%(R3)と5.1ポイント増加している。

[年齢別、通勤・通学先別、居住地区別]



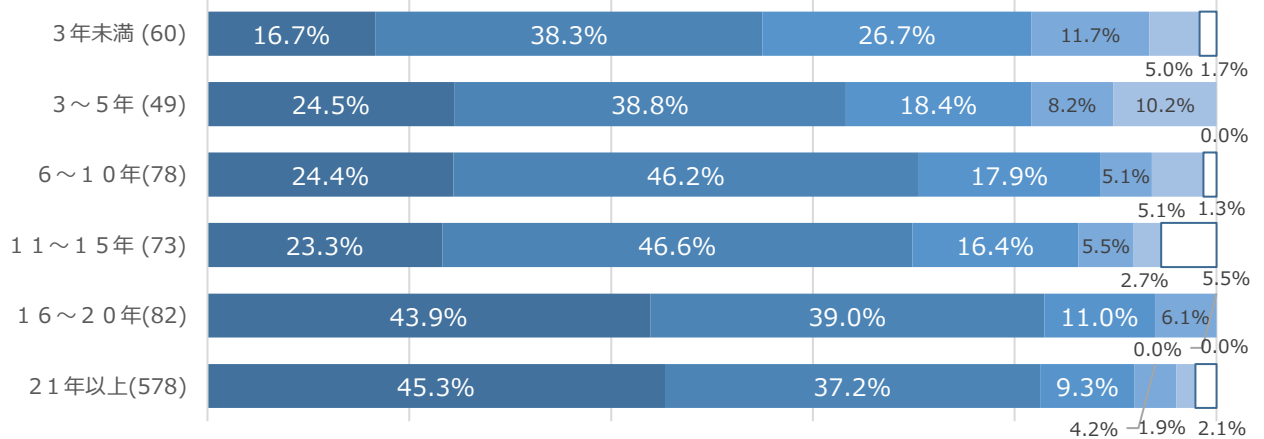
年齢別でみると、「持っている」は80歳代が50.0%と高くなっている。『持っていない（計）』は20歳代が20.6%と高くなっている。

通勤・通学先別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

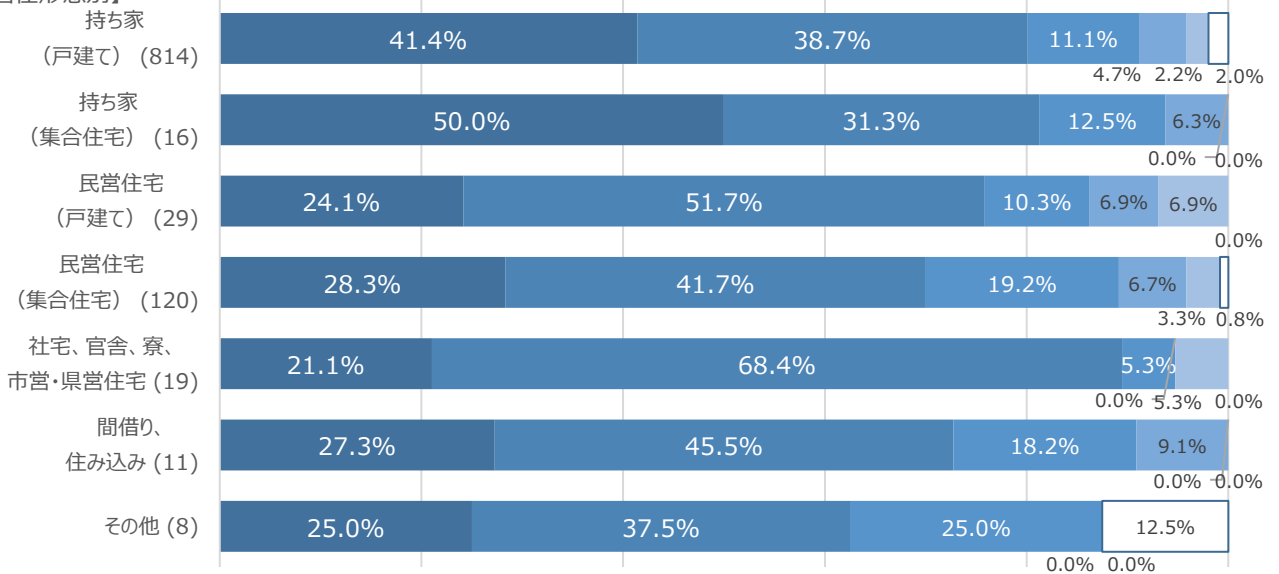
居住地区別でみると、『持っている（計）』は清川2地区が86.0%と高くなっている。

【居住期間別、居住形態別、家族構成別】

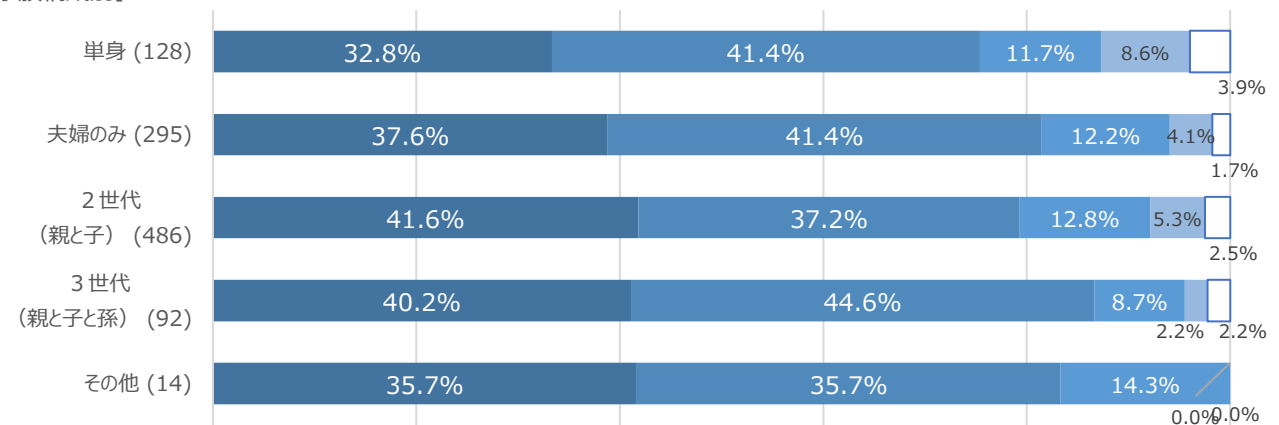
【居住期間別】 ■持っている ■少しは持っている ■どちらとも言えない ■あまり持っていない ■持っていない □無回答



【居住形態別】



【家族構成別】

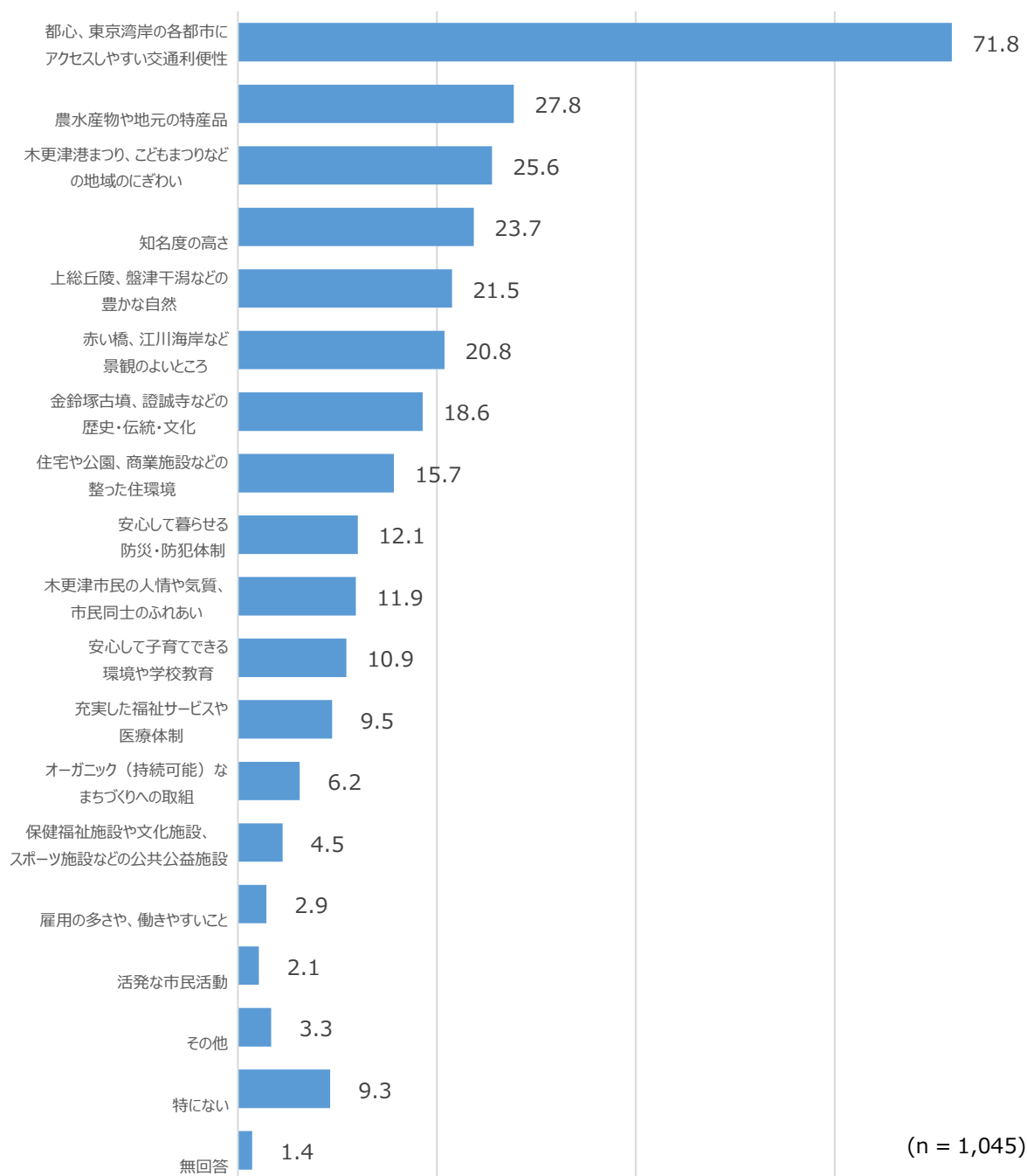


居住期間別でみると、『持っている（計）』は16～20年が82.9%、次いで21年以上が82.5%と高くなっている。『持っていない（計）』は3～5年が18.4%、次いで3年未満が39%と高くなっている。

居住形態別でみると、『持っていない（計）』は民営住宅（集合住宅）が10.0%となっている。家族構成別でみると、『持っている（計）』は3世代（親と子と孫）が84.8%と高くなっている。

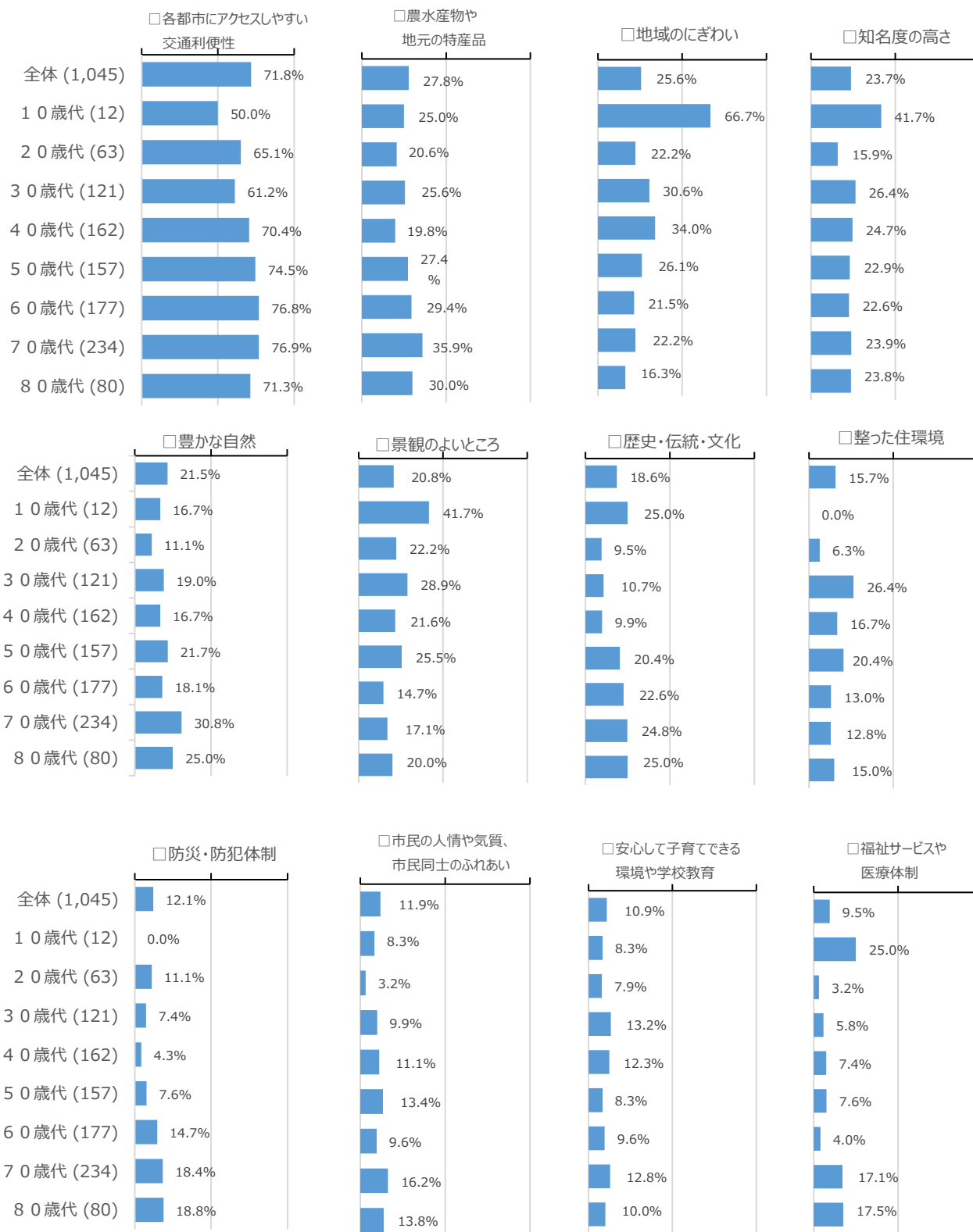
(2) 木更津市の愛着や誇りを感じるもの

問2. あなたが持っている木更津市への愛着や誇りは何ですか。(当てはまるものすべてに✓)



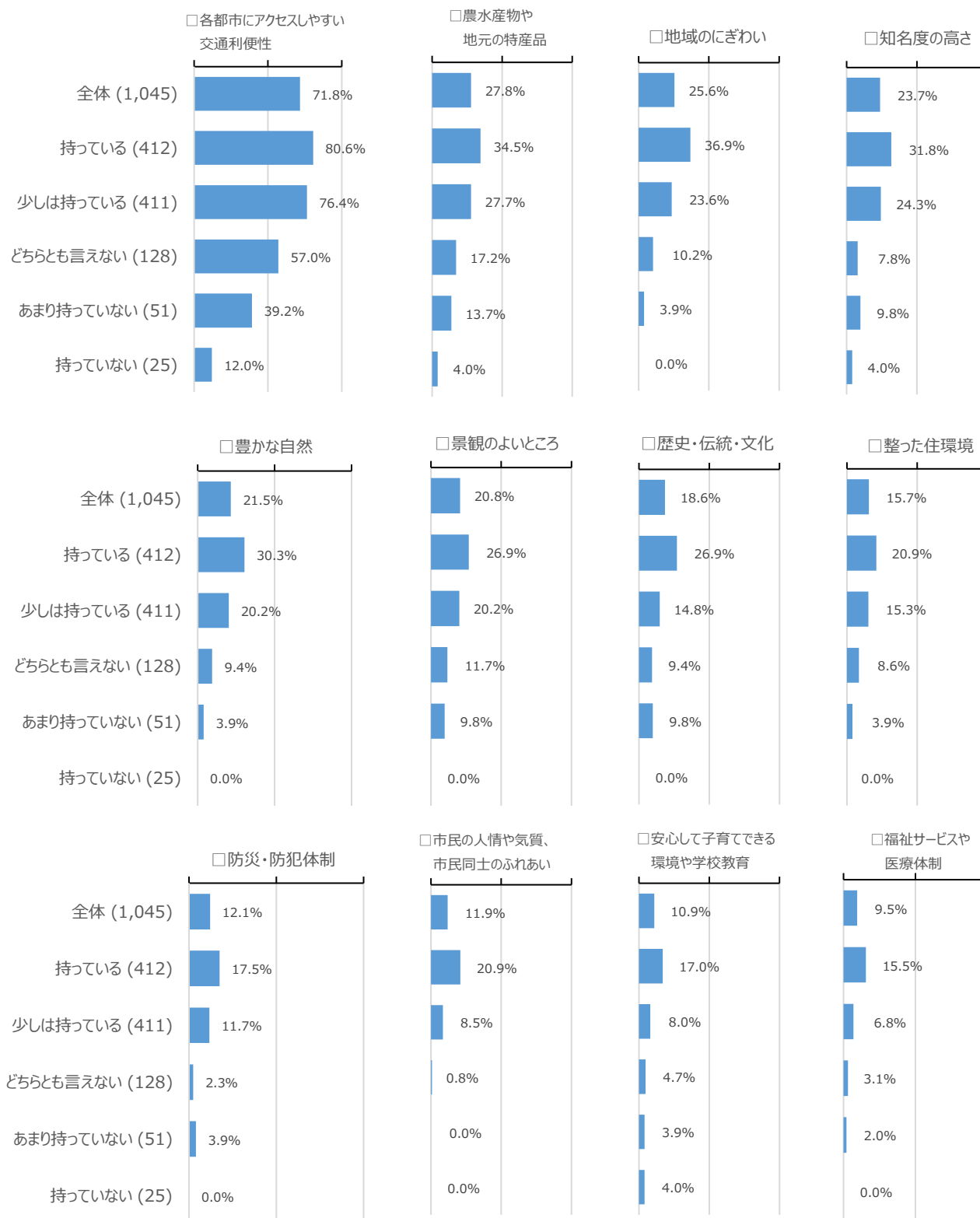
木更津市の愛着や誇りを感じるものについては、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」が71.8%で最も高く、次いで「農産物や地元の特産品」（27.8%）、「木更津港まつり、こどもまつりなどの地域のにぎわい」（25.6%）、「知名度の高さ」（23.7%）、「上総丘陵、盤津干潟などの豊かな自然」（21.5%）の順となっている。

〔年齢別〕（上位12項目）



年齢別でみると、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」は70歳代が76.9%、次いで60歳代が76.8%と高くなっている。「地域のにぎわい」は40歳代が34.0%と高くなっている。「豊かな自然」は70歳代が30.8%、80歳代が25.0%と高くなっている。「景観のよいところ」は30歳代が28.9%と高くなっている。「歴史・伝統・文化」は80歳代が25.0%、次いで70歳代が24.8%と高くなっている。「整った住環境」は30歳代が26.4%と高くなっている。

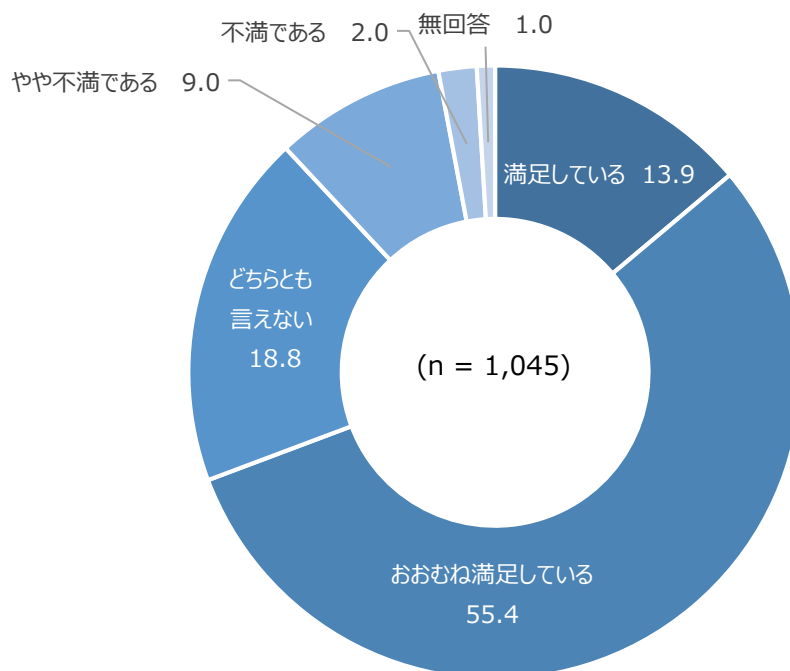
〔木更津市への愛着や誇り別〕（上位12項目）



木更津市への愛着や誇り（問1）別でみると、すべての項目で、木更津市への愛着や誇りを「持っている」方の割合が最も高くなっている。

(3) 住みごこち

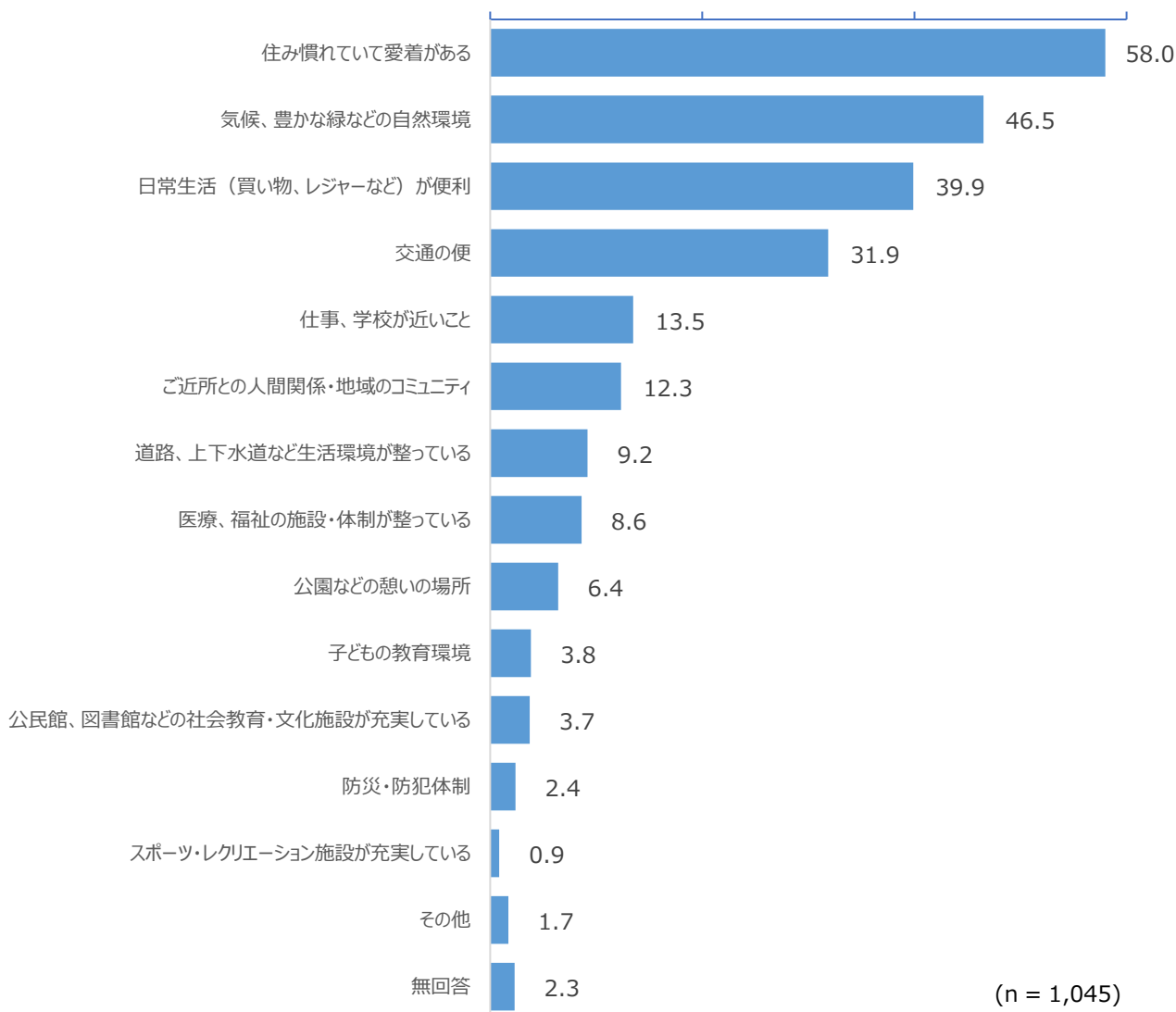
問3. あなたにとって、現在の木更津市の住みごこちはいかがですか
(✓は1つだけ)



木更津市の住みごこちについては、「満足している」が(13.9%)と「おおむね満足している」(55.4%)を合わせた『満足している(計)』が69.3%と高くなっている。「どちらとも言えない」は18.8%で、「やや不満である」(9.0%)と「不満である」(2.0%)を合わせた『不満である(計)』は11.0%となっている。

(4) 住んでいて良いところ

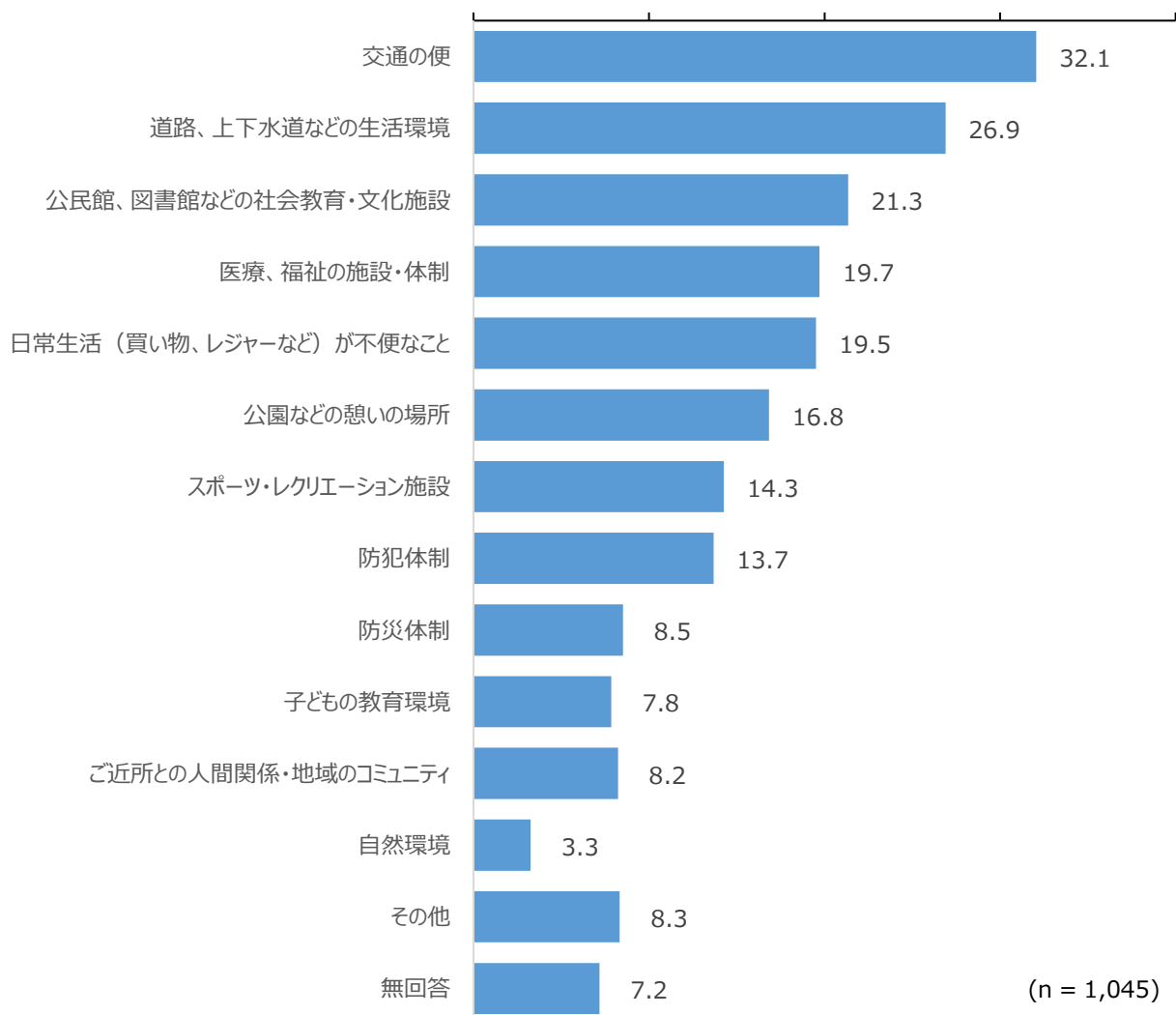
問 4. あなたが木更津市に住んでいて、良いと思うことは何ですか。(✓は3つまで)



木更津市に住んでいて良いと思うことについては、「住み慣れていて愛着がある」が58.0%で最も高く、次いで「気候、豊かな緑などの自然環境」（46.5%）、「日常生活（買い物、レジャーなど）が便利」（39.9%）、「交通の便」（31.9%）、「仕事、学校が近いこと」（13.5%）の順となっている。

(5) 住んでいて良くないところ

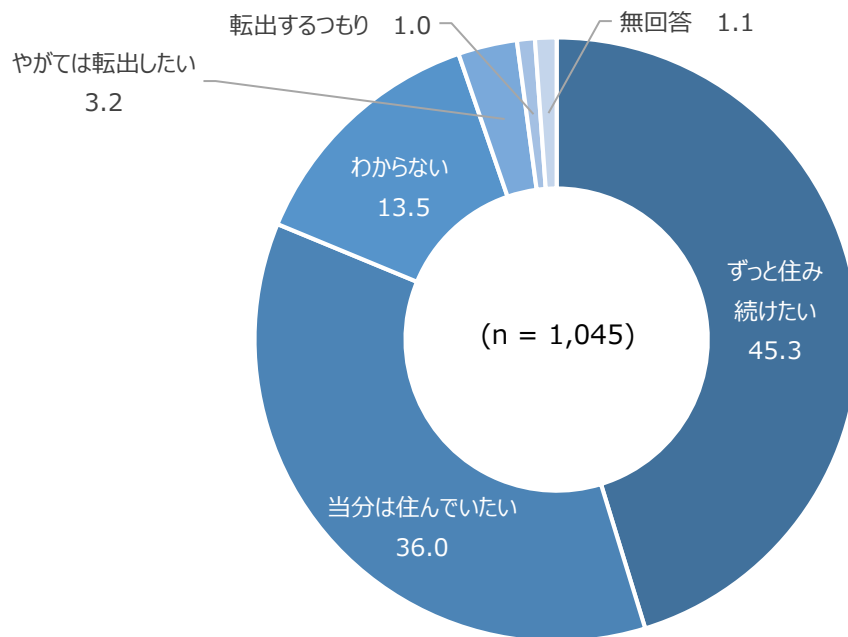
問5. あなたが木更津市に住んでいて、良くないと思ったことは何ですか。
(✓は3つまで)



木更津市に住んでいて良くないと思うことについては、「交通の便」が32.1%で最も高く、次いで「道路、上下水道などの生活環境」（26.9%）、「公民館、図書館などの社会教育・文化施設」（21.3%）、「医療、福祉の施設・体制」（19.7%）、「日常生活（買い物、レジャーなど）が不便なこと」（19.5%）の順となっている。

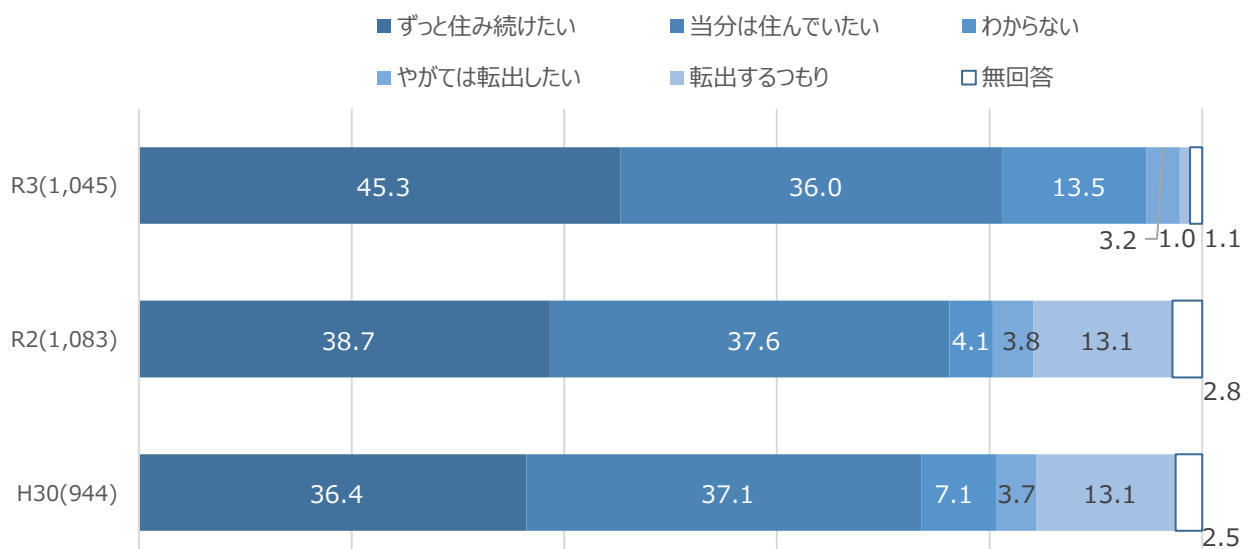
(6) 定住意向

問6. あなたは、これからも木更津市に住みたいと考えていますか。(✓は1つだけ)



定住意向については、「ずっと住み続けたい」(45.3%)と「当分は住んでいたい」(36.0%)を合わせた『定住意向(計)』が81.3%と高くなっている。「やがては転出したい」(3.2%)と「転出するつもり」(1.0%)を合わせた『転出意向(計)』は4.2%となっている。

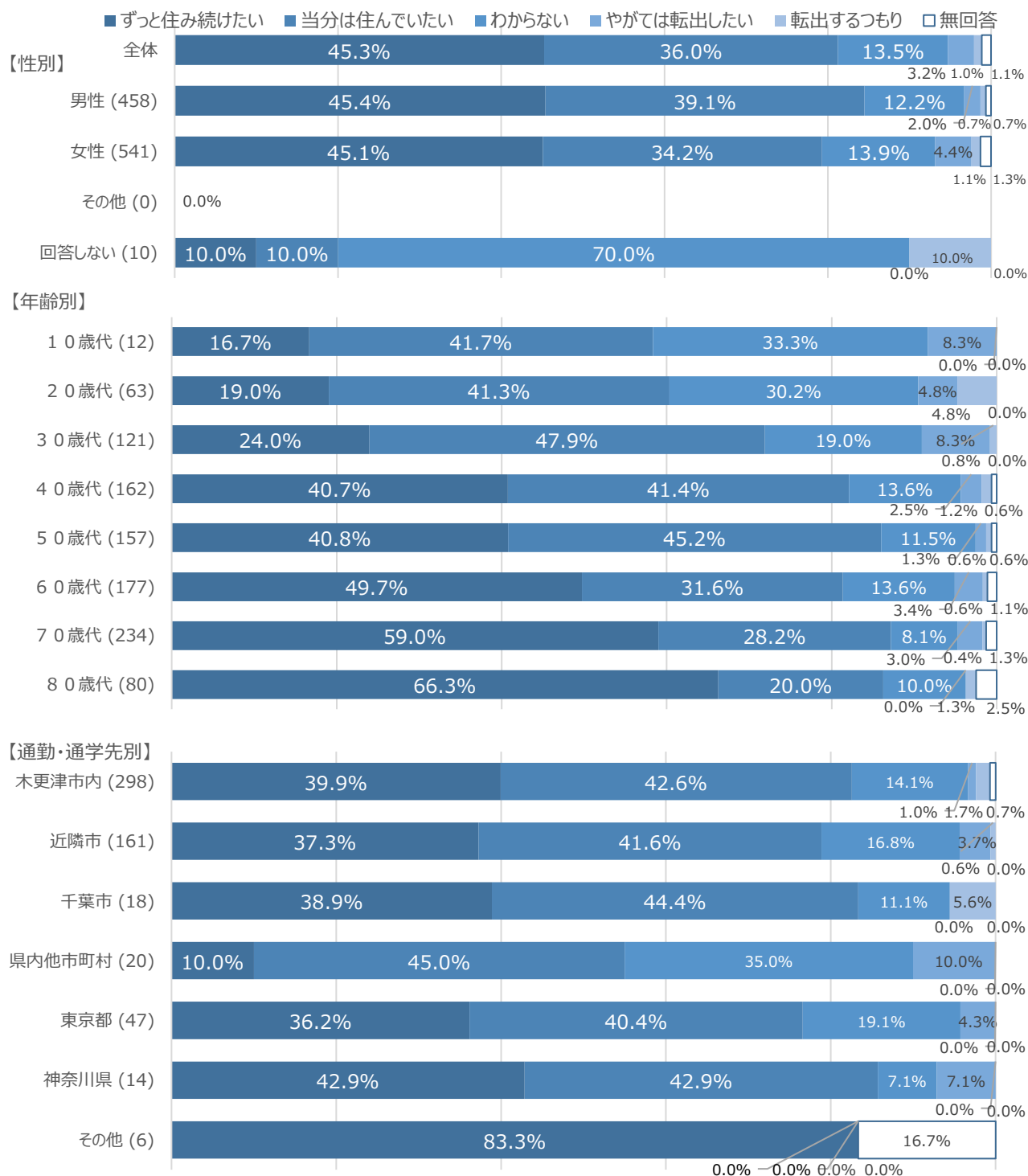
[過去調査との比較]



(※)「当分は住んでいたい」、「やがては転出したい」は過去調査(R2、H30)ではそれぞれ「できれば住み続けたい」、「できれば転出したい」としていた。

過去調査との比較は、選択肢の一部が異なるため参考にとどまるが、「ずっと住み続けたい」は前回調査(R2)から6.6ポイント増加している。

〔性別、年齢別、通勤・通学先別〕

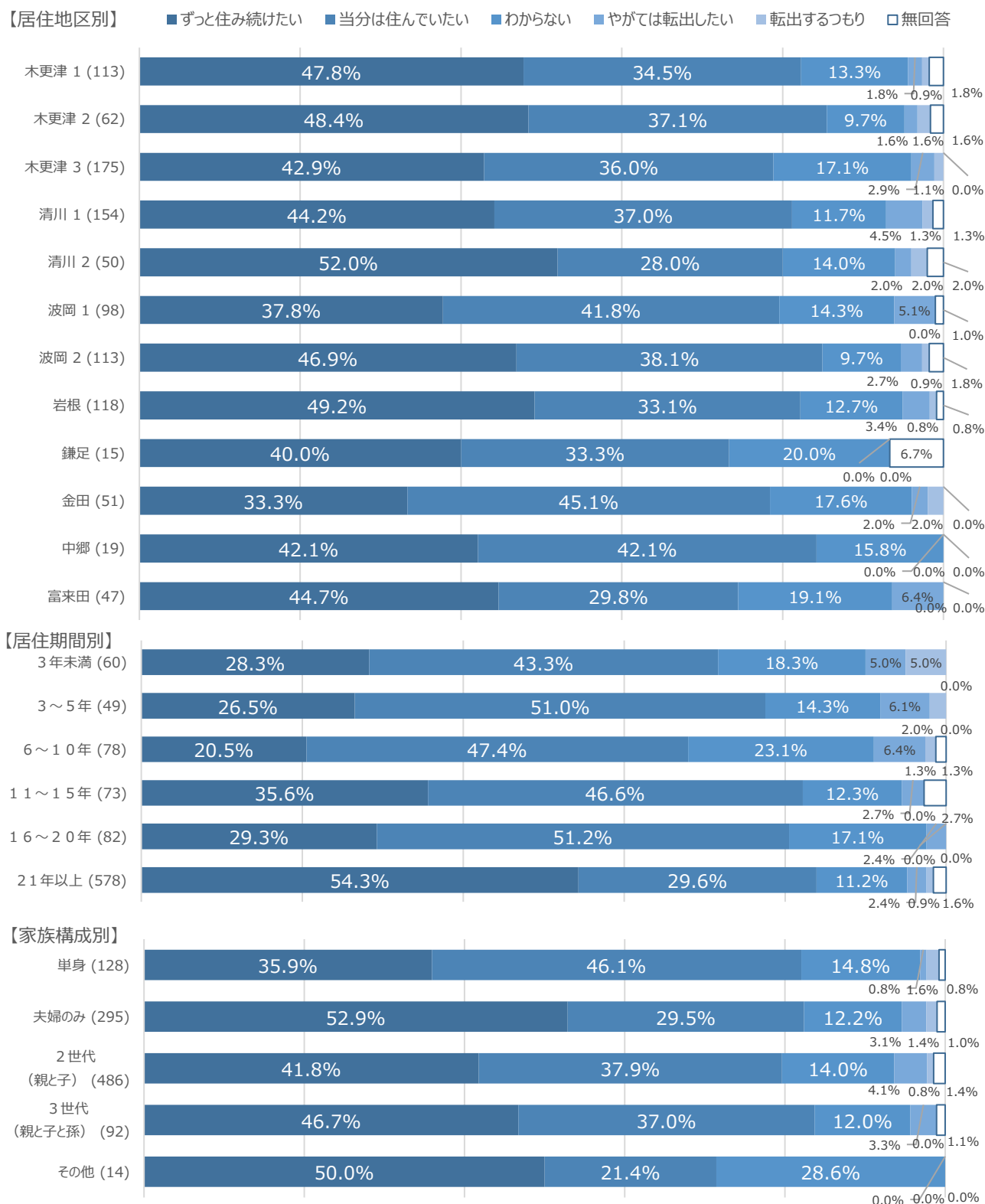


性別でみると、『定住意向（計）』は男性（84.5%）が女性（79.3%）より5.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『定住意向（計）』は70歳代が87.2%、80歳代が86.3%、50歳代が86.0%と高くなっている。『転出意向（計）』は20歳代が9.6%、30歳代が9.1%と高くなっている。

通勤・通学先別でみると、『定住意向（計）』は木更津市内（82.5%）が最も高く、次いで近隣市（78.9%）、東京都（76.6%）の順に高くなっている。

【居住地区別、居住期間別、家族構成別】



居住地区別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

居住期間別でみると、『定住意向（計）』は21年以上が83.9%、11～15年が82.2%と高くなっている。『転出意向（計）』は3年未満が10.0%、3～5年が8.1%と高くなっている。

家族構成別でみると、『転出意向（計）』は2世代（親と子）が4.9%、次いで夫婦のみが4.5%と高くなっている。

3. 木更津市の取り組みについて

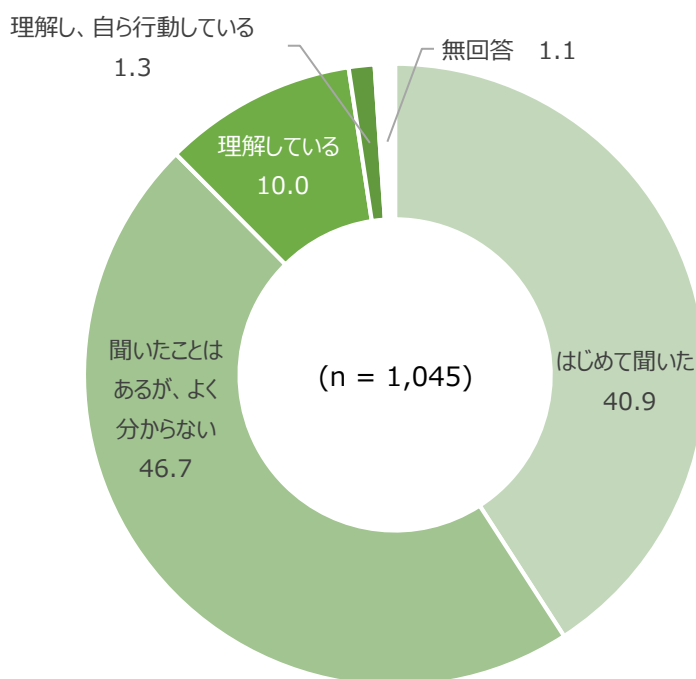
(1)「オーガニックなまちづくり」の認知度

問7. 現在、木更津市は、「オーガニックなまちづくり」を推進しています。

この取り組みについて、あなたはどのくらい知っていますか。(○は1つだけ)

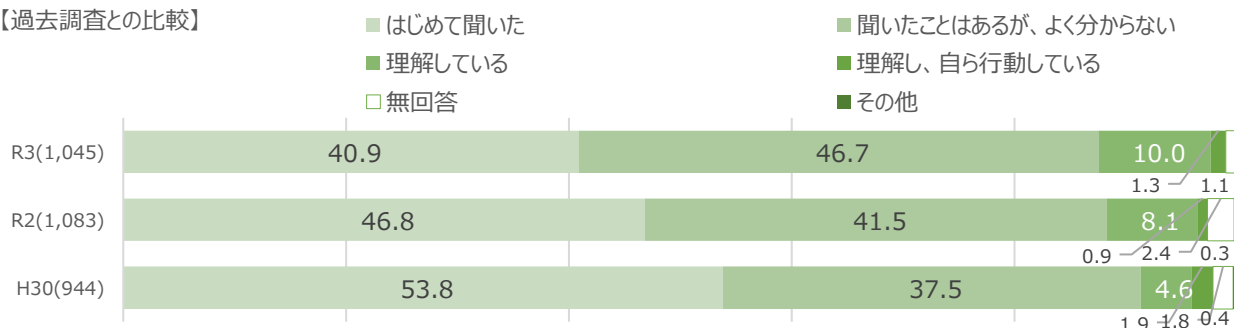
(オーガニックなまちづくりとは?)

このまちに住む人が、それぞれの役割を果たしながら、
互いに繋がり支え合って、人と自然が調和した持続可能なまち
をつくろうとする取組のことです



「オーガニックなまちづくり」の認知度については、「理解し、自ら行動している」が1.3%、「理解している」が10.0%となっている。「聞いたことはあるが、よく分からない」は46.7%で、「はじめて聞いた」は40.9%となっている。

【過去調査との比較】

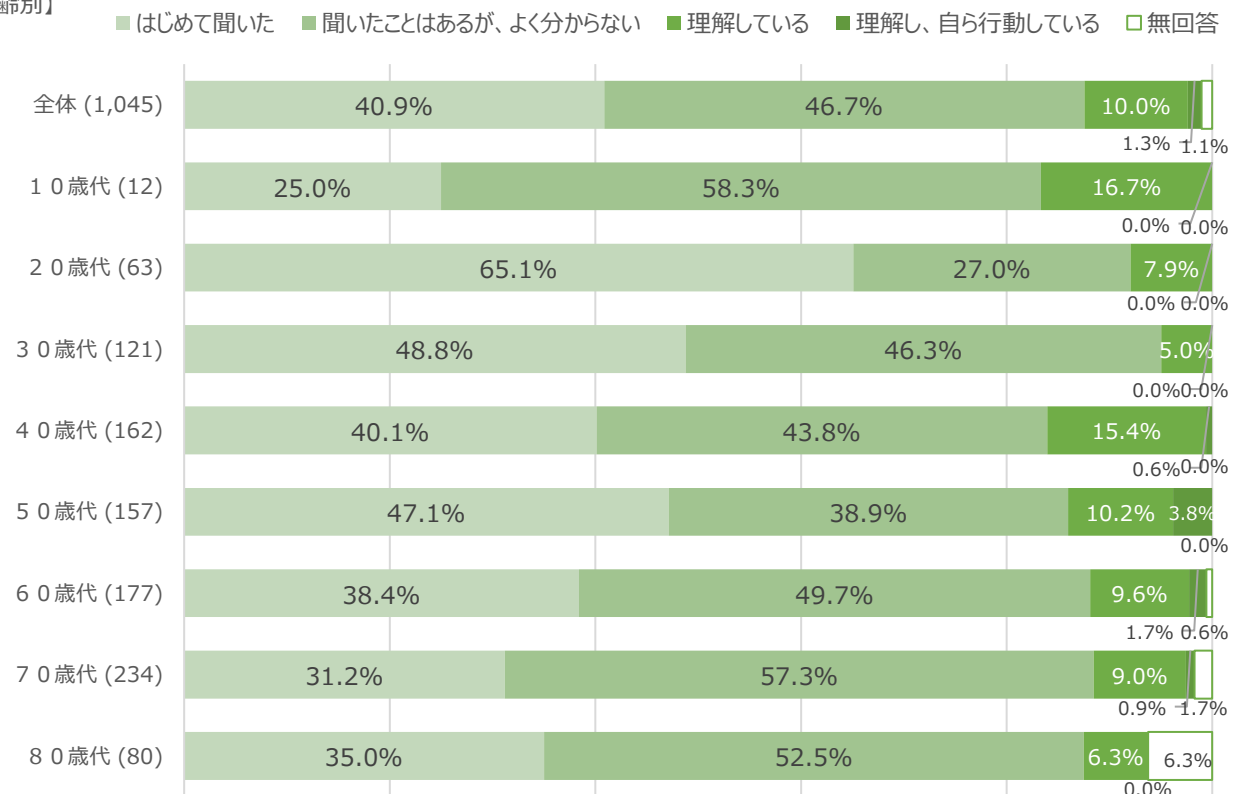


(※)「理解し、自ら行動している」は、平成30年調査では「理解し、共感している」としていた。

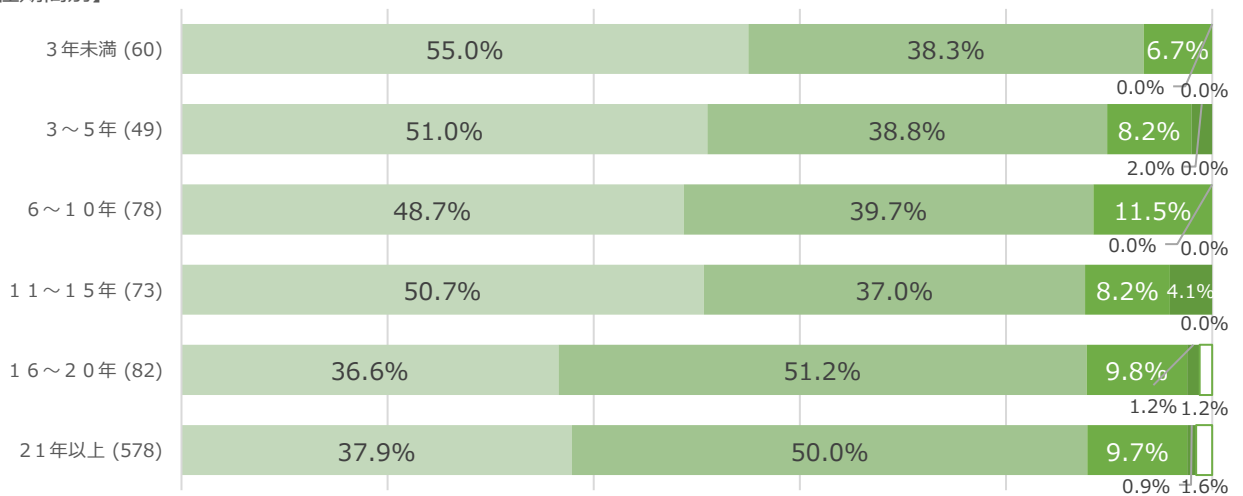
前回調査(R2)との比較は、「聞いたことはあるが、よく分からない」が5.2ポイント、「理解している」が1.9ポイント、「理解し、自ら行動している」が0.4ポイント増加している。また、「はじめて聞いた」は5.9ポイント減少している。

【年齢別、居住期間別】

【年齢別】



【居住期間別】

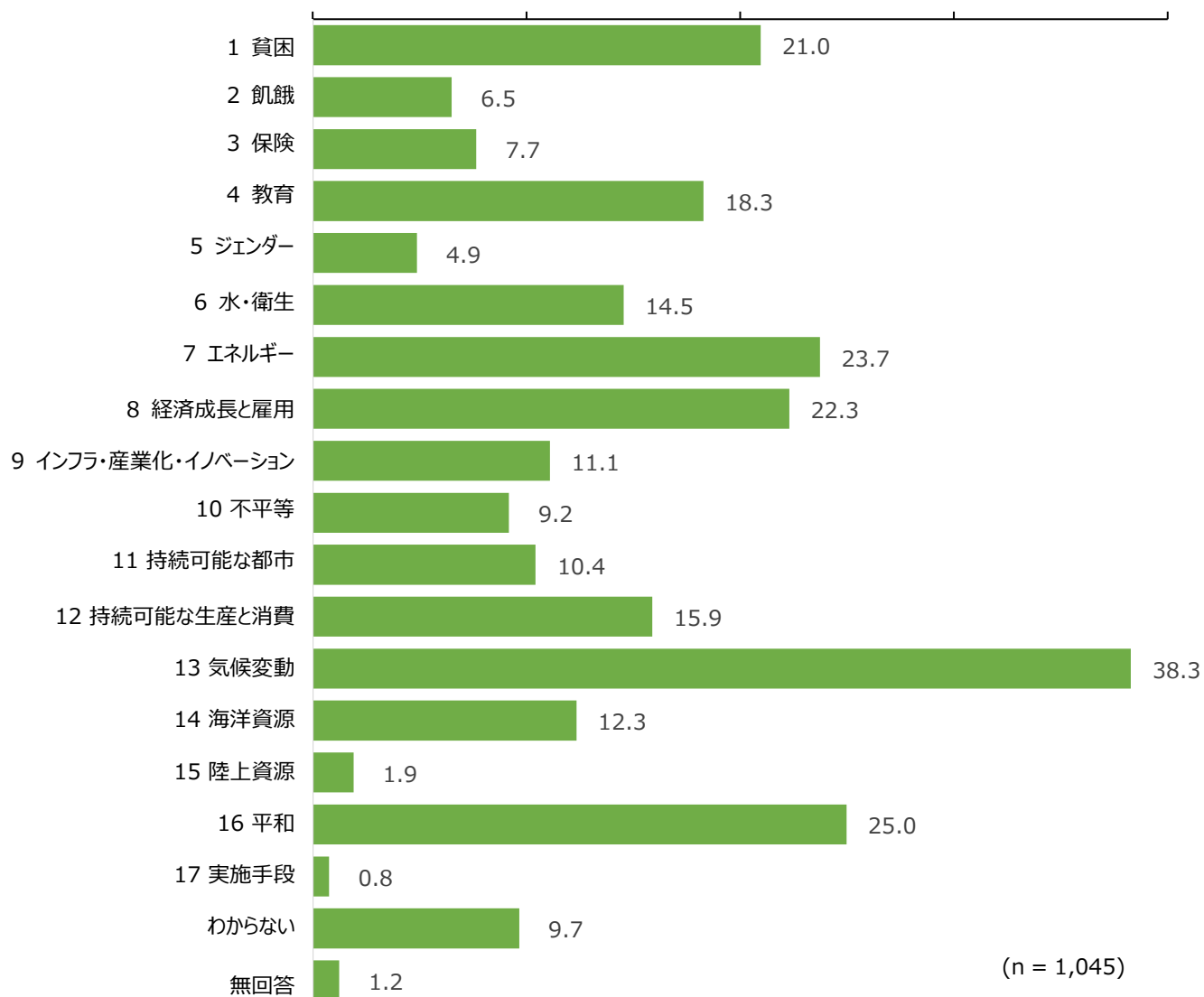


年齢別でみると、「はじめて聞いた」は20歳代が65.1%と高くなっている。「理解している」は40歳代が15.4%となっている。

居住期間別でみると、「はじめて聞いた」は3年未満が55.0%、3～5年が51.0%、11～15年が50.7%と高くなっている。「理解している」は6～10年が11.5%となっている。

(2)「SDGs」の認知度

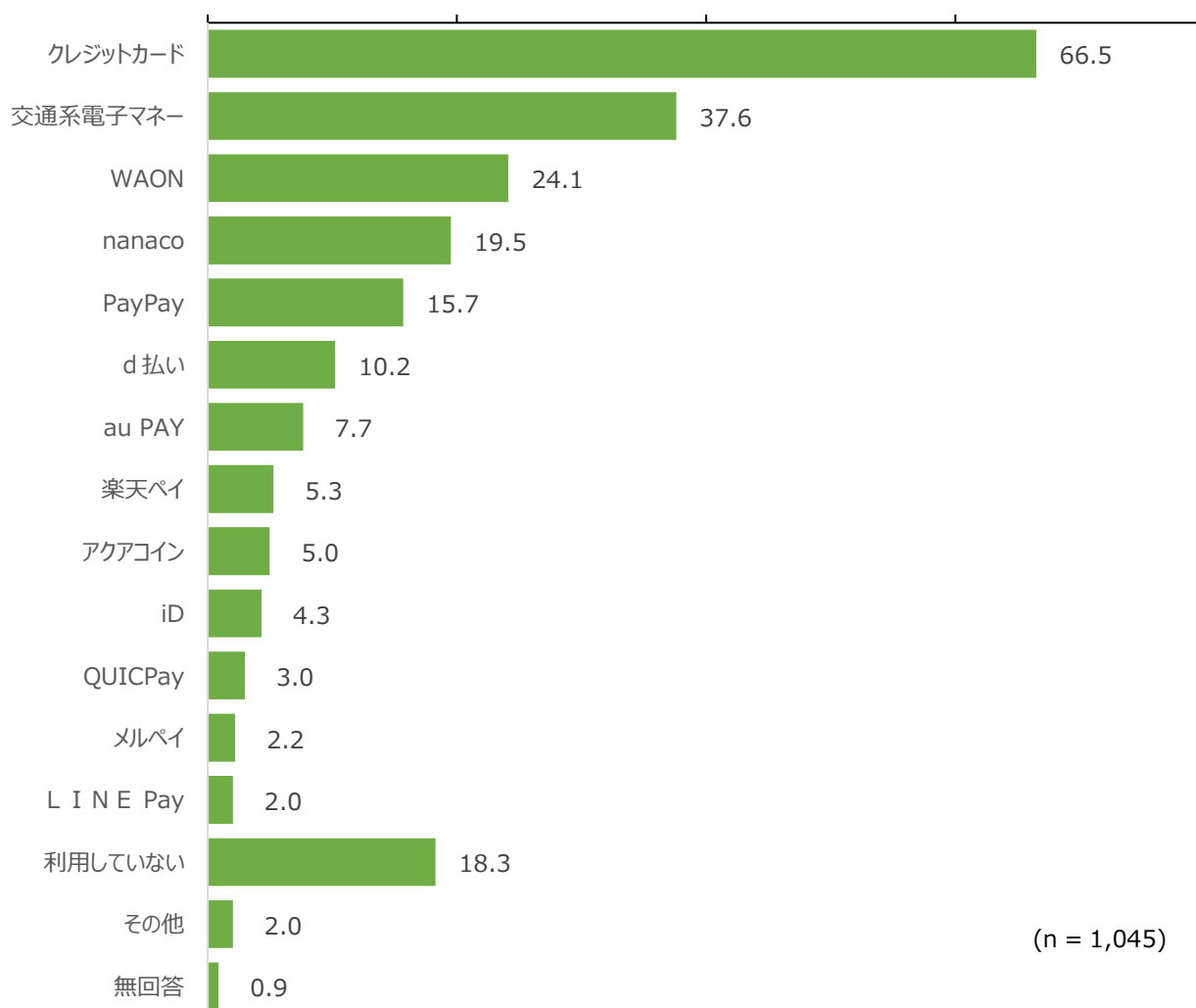
問8. SDGsの17の目標（テーマ）の中で、あなたが特に興味・関心のあるものはどれですか（✓は3つまで）



「SDGs」の認知度については、「13 気候変動」が38.3%で最も高く、次いで「16 平和」が(25.0%)、「7 エネルギー」が(23.7%)、「8 経済成長と雇用」が(22.3%)、「1 貧困」(21.0%)の順となっている。

(3) キャッシュレス決済の普及度

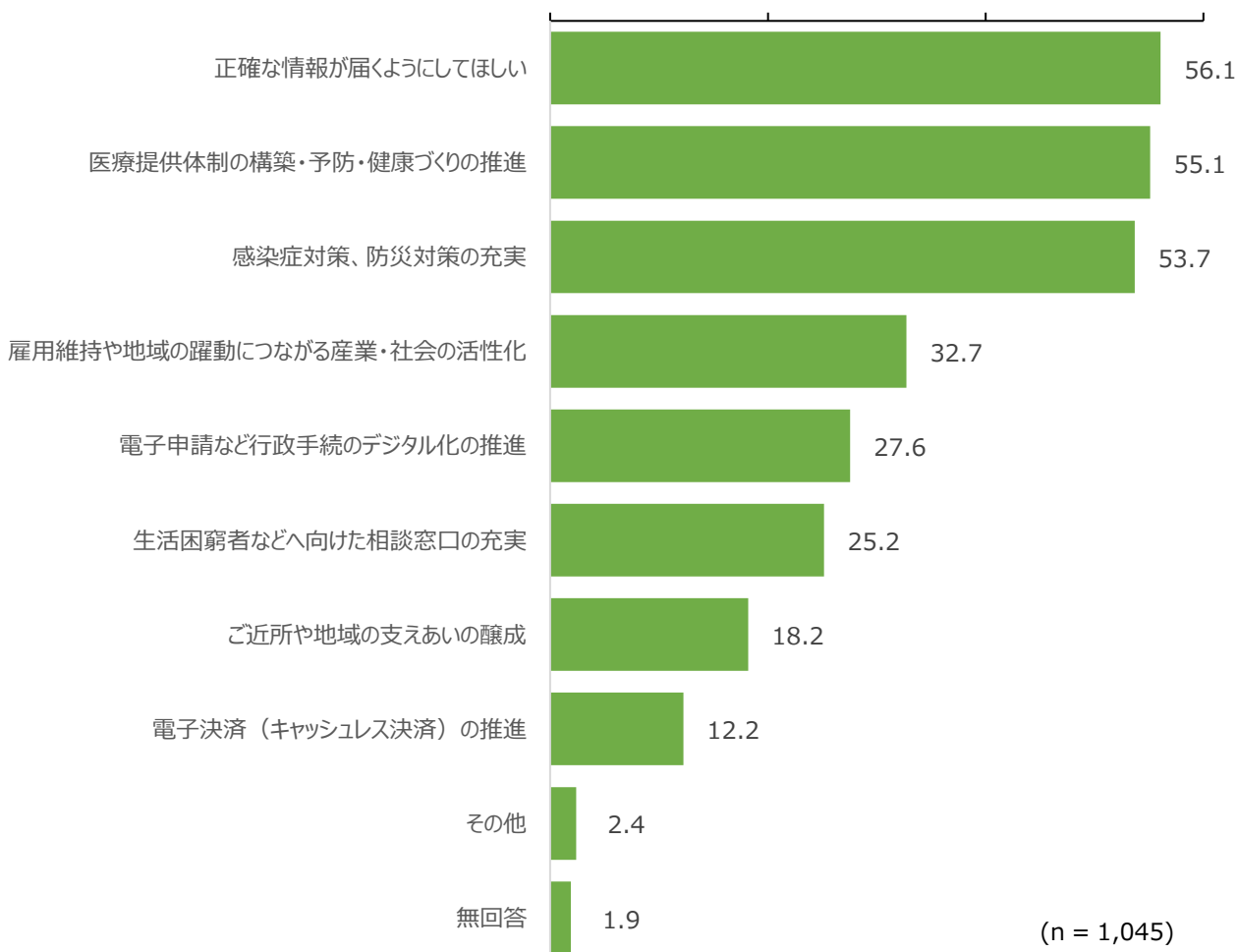
問9. あなたが普段利用しているキャッシュレス決済はどれですか（当てはまるものすべてに✓）



キャッシュレス決済の普及度については、「クレジットカード」が66.5%で最も高く、次いで「交通系電子マネー」が(37.6%)、「WAON」が(24.1%)、「nanaco」が(19.5%)、「PayPay」(15.7%)の順となっている。

(4) 新型コロナウイルス感染症の影響下において、今後市に期待する取組

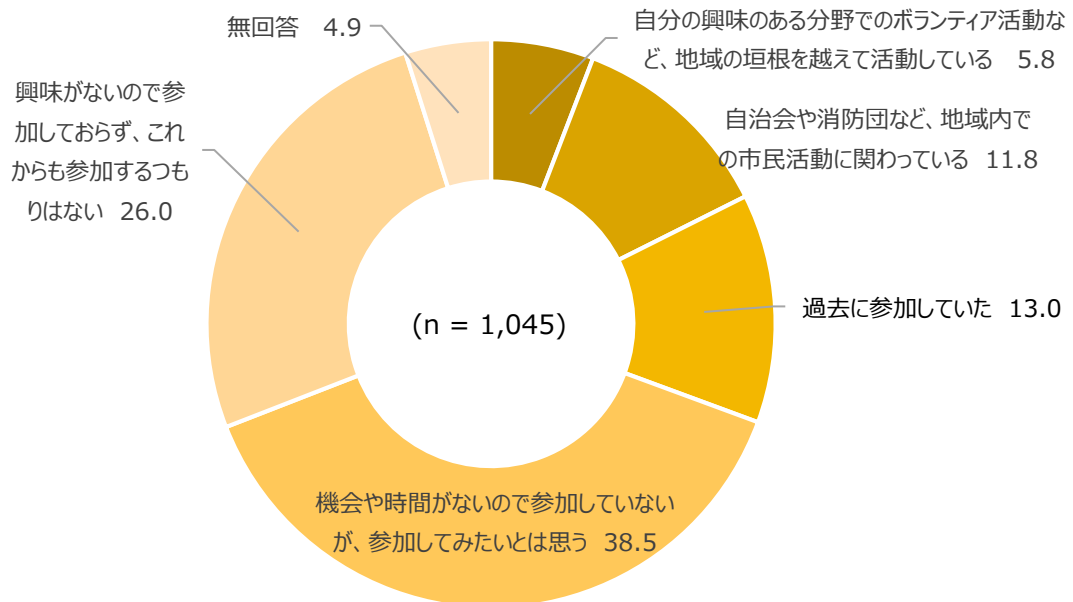
問10. 新型コロナウイルス感染症の影響下で、変化、または新たに生まれた生活様式などが数多くありますが、あなたが今後の生活において木更津市に進めてほしい取組は何ですか（当てはまるものすべてに✓）



新型コロナウイルス感染症の影響下において、今後市に期待する取組については、「正確な情報が届くようにしてほしい」が56.1%で最も高く、次いで「医療提供体制の構築・予防・健康づくりの推進」が（55.1%）、「感染症対策、防災対策の充実」が（53.7%）、「雇用維持や地域の躍動につながる産業・社会の活性化」が（32.7%）の順となっている。

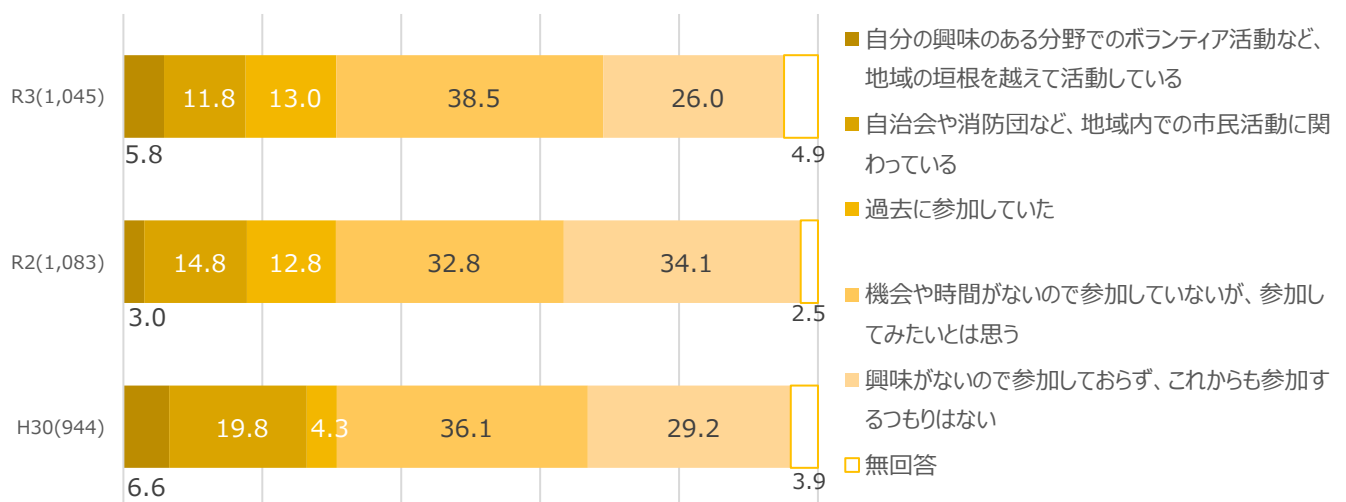
(5) 市民活動の参加状況

問11. 現在、木更津市は、「市民活動（ボランティアやNPO活動など）」を推進しています。
あなたの市民活動の参加状況にもっとも近いのはどれですか。（✓は1つだけ）



市民活動の参加状況については、「自分の興味のある分野でのボランティア活動など、地域の垣根を越えて活動している」（5.8%）と「自治会や消防団など、地域内での市民活動に関わっている」（11.8%）を合わせた『参加している（計）』が17.6%となっている。「過去に参加していた」は13.0%、「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」は38.5%で、「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」は26.0%となっている。

[過去調査との比較]

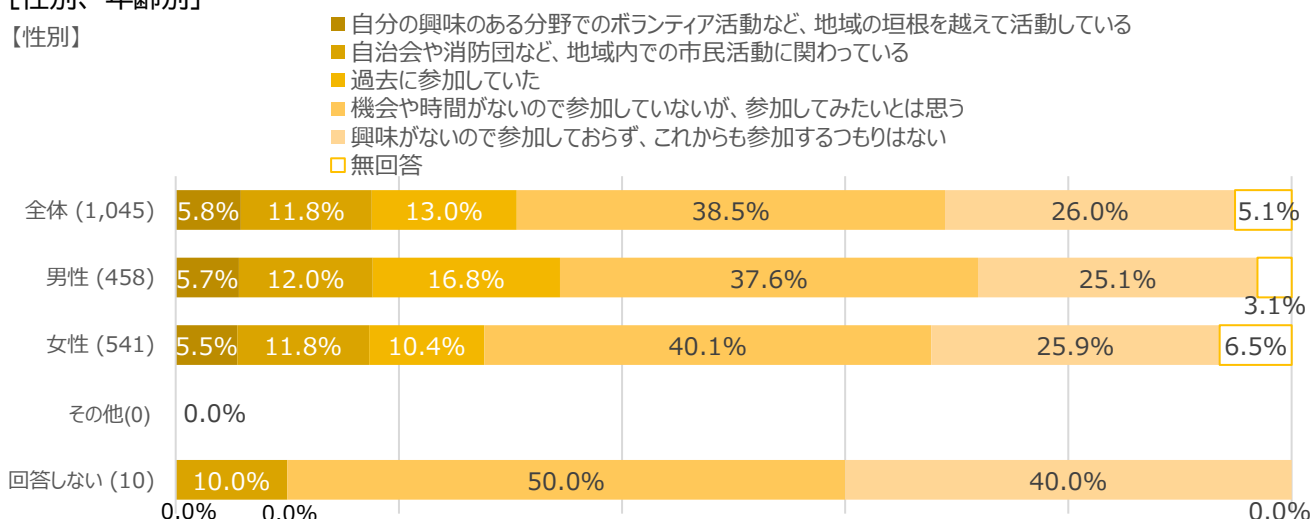


(※)「過去に参加していた」は、平成30年調査では「過去に参加していたが、これからは参加しないつもり」としていた。

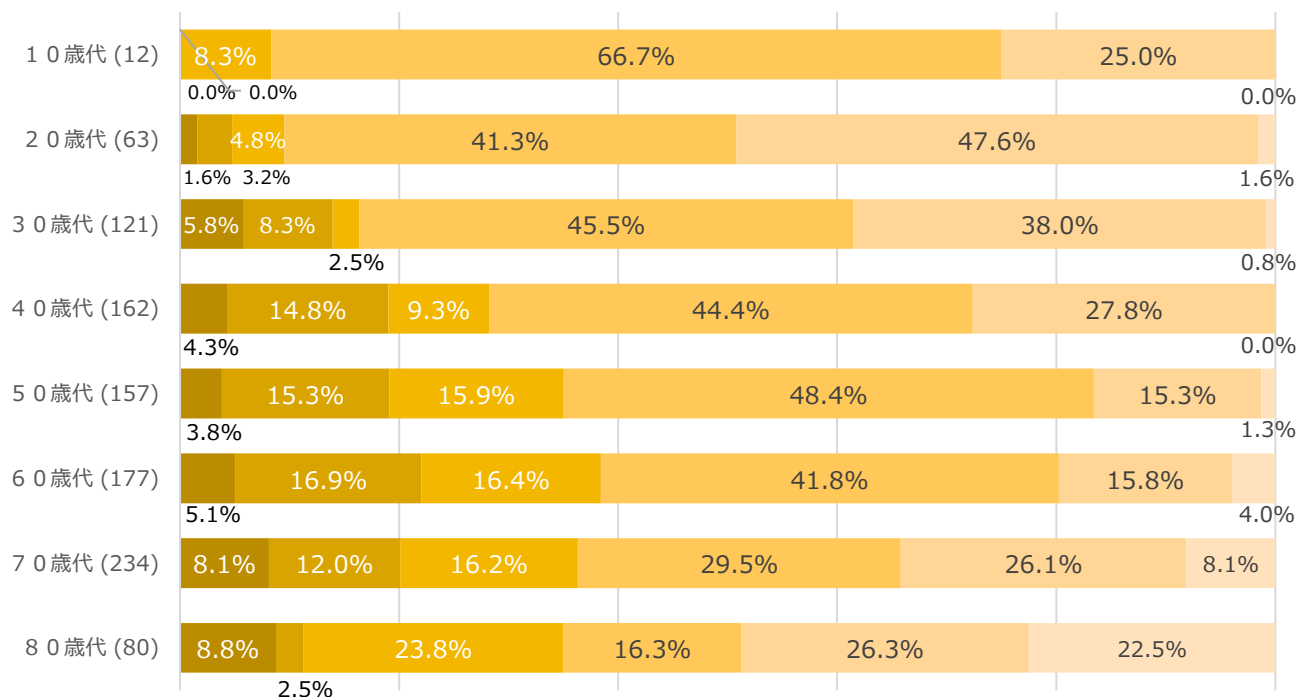
前回調査(R2)との比較は、「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」が5.7ポイント増加している。

【性別、年齢別】

【性別】



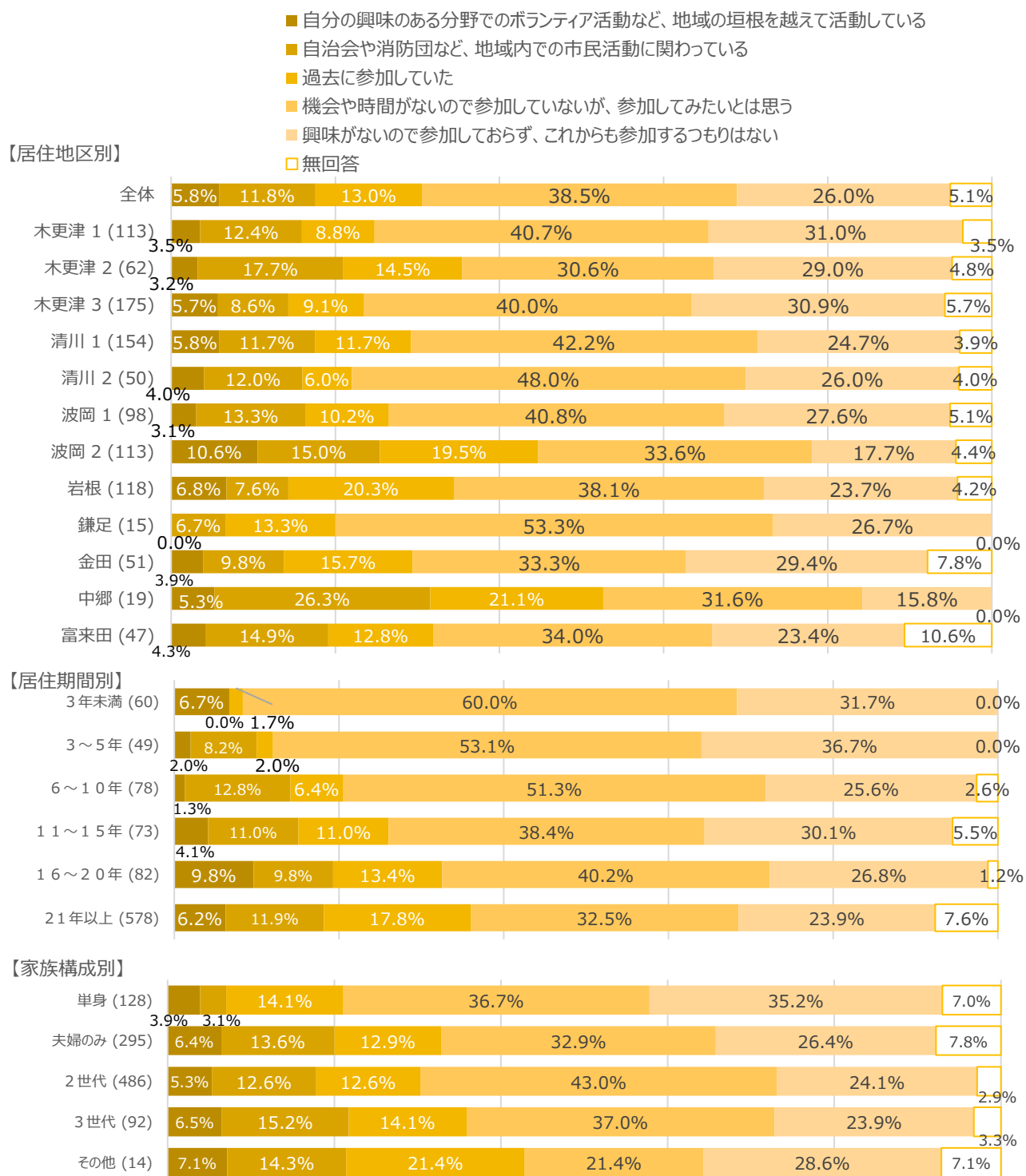
【年齢別】



性別でみると、「過去に参加していた」は男性（16.8%）が女性（10.4%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『参加している（計）』は60歳代が22.0%と高くなっている。「過去に参加していた」は80歳代が23.8%、60歳代が16.4%、70歳代が16.2%、50歳代が15.9%と高くなっている。「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」は50歳代が48.4%、30歳代が45.5%と高くなっている。「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」は20歳代が47.6%、30歳代が38.0%と高くなっている。

【居住地区別、居住期間別、家族構成別】



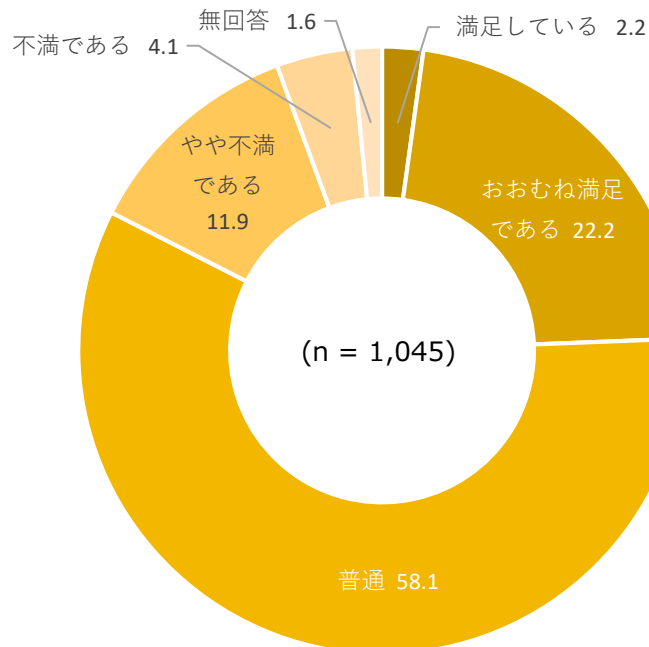
居住地区別でみると、『参加している（計）』は波岡2地区が25.6%と高くなっている。「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」は木更津1地区が31.0%、木更津3地区が30.9%と高くなっている。

居住期間別でみると、『参加している（計）』は16～20年が19.6%と高くなっている。「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」は3年未満が60.0%、3～5年が53.1%と高くなっている。「興味がないので参加しておらず、これからも参加するつもりはない」は3～5年が36.7%と高くなっている。

家族構成別でみると、「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」は2世代が43.0%と高くなっている。

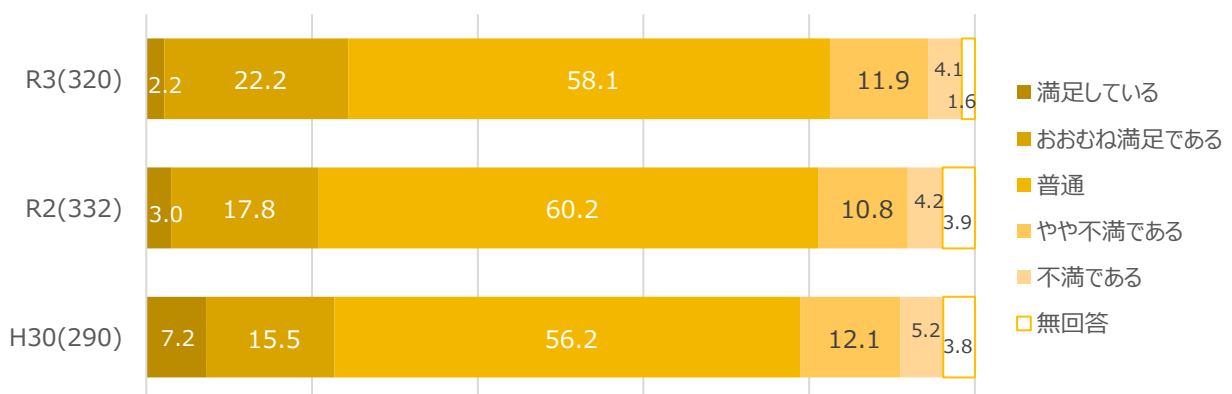
（６）市民活動に対する市の取り組みの満足度

問11-1. 問11で、「市民活動に参加している、過去に参加していた」を選んだ方に、お聞きします。市民活動に対する市の取り組みに満足していますか。（✓は1つだけ）



市民活動に対する市の取り組みの満足度については、「満足している」（2.2％）と「おおむね満足である」（22.2％）を合わせた『満足（計）』が24.4％となっている。「普通」は58.1％で、「やや不満である」（11.9％）と「不満である」（4.1％）を合わせた『不満（計）』は16.0％となっている。

〔過去調査との比較〕

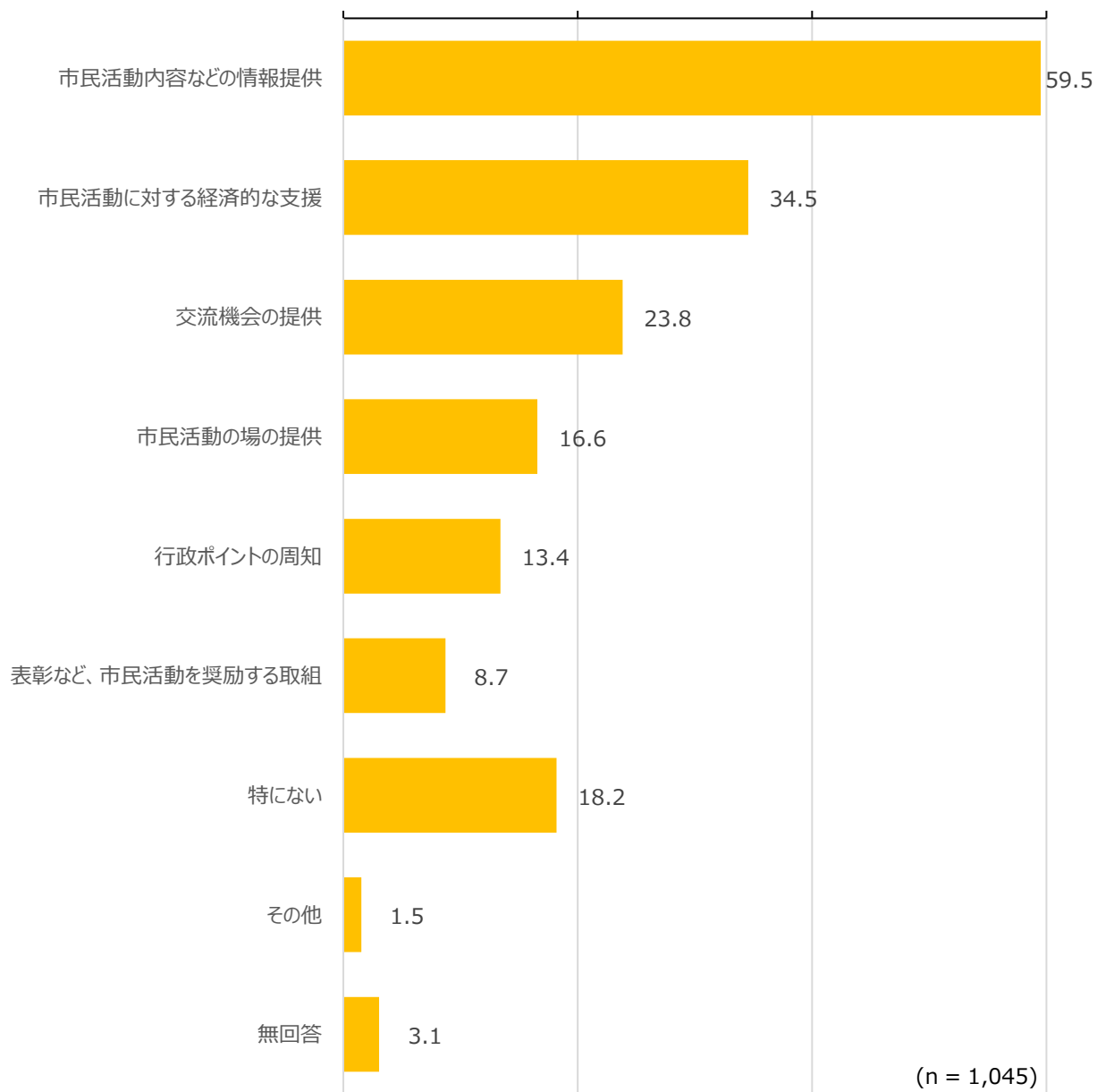


過去調査と比較すると、大きな傾向の違いは見られない。

(7) 市民活動を広めるための市の取り組み

問12. 市民活動を市民の皆さまに広めるため、今後どのような取組が必要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに✓)



市民活動を広めるための市の取り組みについては、「市民活動内容などの情報提供」が59.5%で最も高く、次いで「市民活動に対する経済的な支援」(34.5%)、「交流機会の提供」(23.8%)、「市民活動の場の提供」(16.6%)の順となっている。

4. 行政サービスに関する満足度、今後の優先度について

(1) 行政サービスに関する現在の満足度と今後の優先度

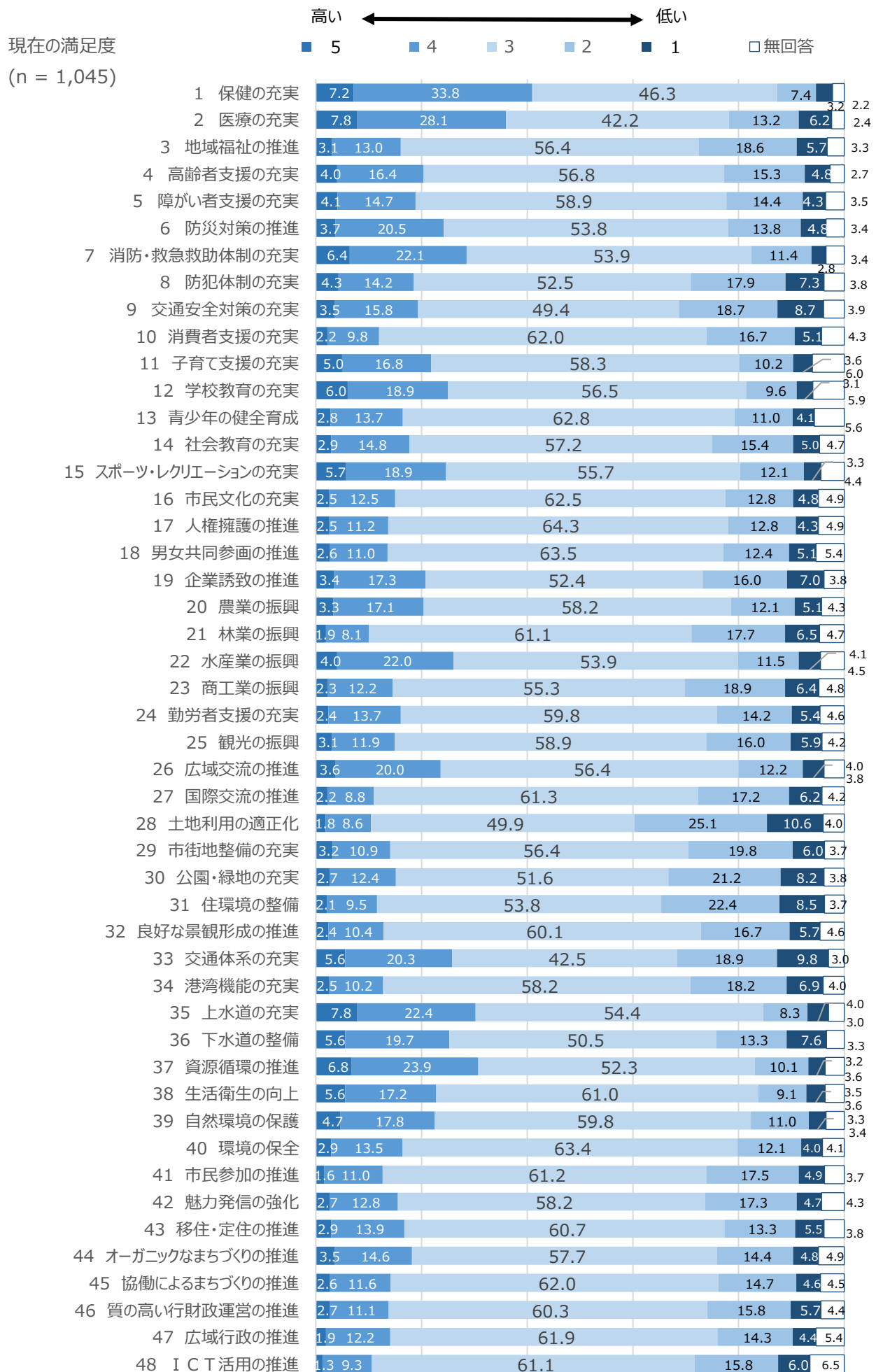
問13. あなたは、木更津市の行政サービスに対して、どのくらい満足していますか。
また、今後どのくらい優先的に取り組んでほしいと思いますか。以下の1～48の
各項目について、「現在の満足度」と「今後の優先度」を選んでください。(✓は1つずつ)

木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度については、「5」と「4」を合わせた『高い(計)』は「1 保健の充実」が41.0%で最も高く、次いで「2 医療の充実」(35.9%)、「37 資源循環の推進」(30.7%)、「35 上水道の充実」(30.2%)、「7 消防・救急救助体制の充実」(28.5%)の順となっている。

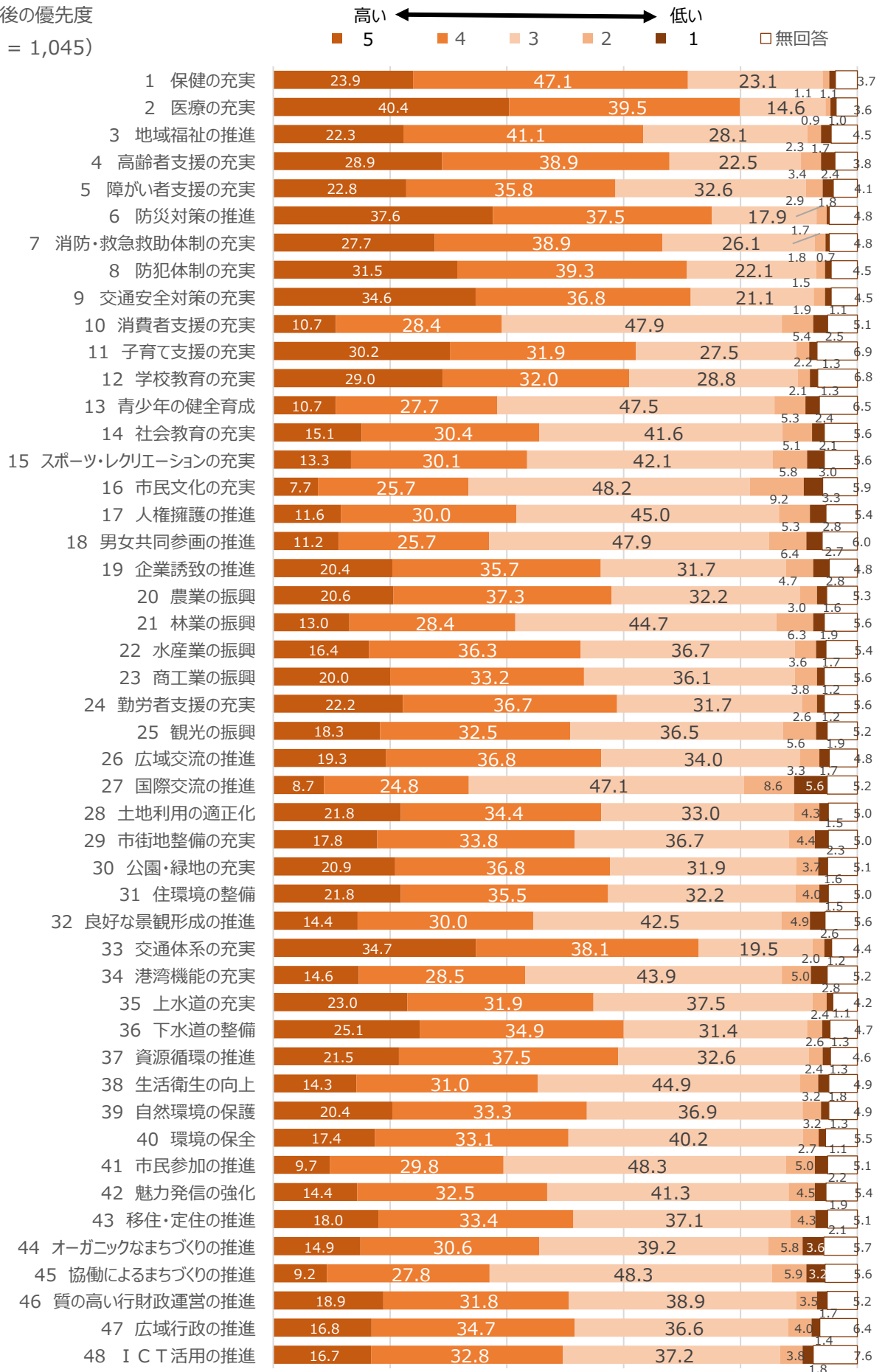
一方、「2」と「1」を合わせた『低い(計)』は「28 土地利用の適正化」が35.7%で最も高く、次いで「31 住環境の整備」(30.9%)、「30 公園・緑地の充実」(29.4%)、「33 交通体系の充実」(28.7%)、「9 交通安全対策の充実」(27.4%)、の順となっている。

木更津市の行政サービス48項目に関する今後の優先度については、「5」と「4」を合わせた『高い(計)』は「2 医療の充実」(79.9%)で最も高く、次いで、「6 防災対策の推進」が75.1%、「33 交通体系の充実」(72.8%)、「9 交通安全対策の充実」(71.4%)、「1 保健の充実」(71.0%)の順となっている。

一方、「2」と「1」を合わせた『低い(計)』は「27 国際交流の推進」(14.2%)と「16 市民文化の充実」(12.5%)の2項目が1割台となっており、それ以外の46項目は1割未満となっている。



今後の優先度
(n = 1,045)



(2) 現在の満足度と今後の優先度の加重平均による分析

木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度について、28～30ページに示したように5段階の評価を得たが、その結果を相対的に比較しやすくするため、それぞれの回答に得点としての重みを与え、その平均値を「加重平均値」として計算し、行政サービス間の順位を明らかにした。以下に「加重平均値」の計算方法を示す。

まず、それぞれの回答に以下のような得点を与えた。

現在の満足度では

「5」を＋2点、「4」を＋1点、「3」を0点、「2」を－1点、「1」を－2点

今後の優先度では

「5」を＋2点、「4」を＋1点、「3」を0点、「2」を－1点、「1」を－2点

次に、以下の計算式により現在の満足度、今後の優先度の加重平均値を求めた。

$$\text{現在の満足度加重平均値} = \frac{\text{「5」の回答者数} \times 2 + \text{「4」の回答者数} \times 1 + \text{「3」の回答者数} \times 0 + \text{「2」の回答者数} \times (-1) + \text{「1」の回答者数} \times (-2)}{n - (\text{無回答者数})}$$

$$\text{今後の優先度加重平均値} = \frac{\text{「5」の回答者数} \times 2 + \text{「4」の回答者数} \times 1 + \text{「3」の回答者数} \times 0 + \text{「2」の回答者数} \times (-1) + \text{「1」の回答者数} \times (-2)}{n - (\text{無回答者数})}$$

加重平均値は最大値が＋2、最小値が－2となり、＋2に近づくほど現在の満足度、今後の優先度が高いことを示す。

現在の満足度の加重平均値は、「1 保健の充実」が0.352で最も高く、次いで「35 上水道の充実」(0.224)、「37 資源循環の推進」(0.218)、「7 消防・救急救助体制の充実」(0.186)、「2 医療の充実」(0.186)の順となっている。

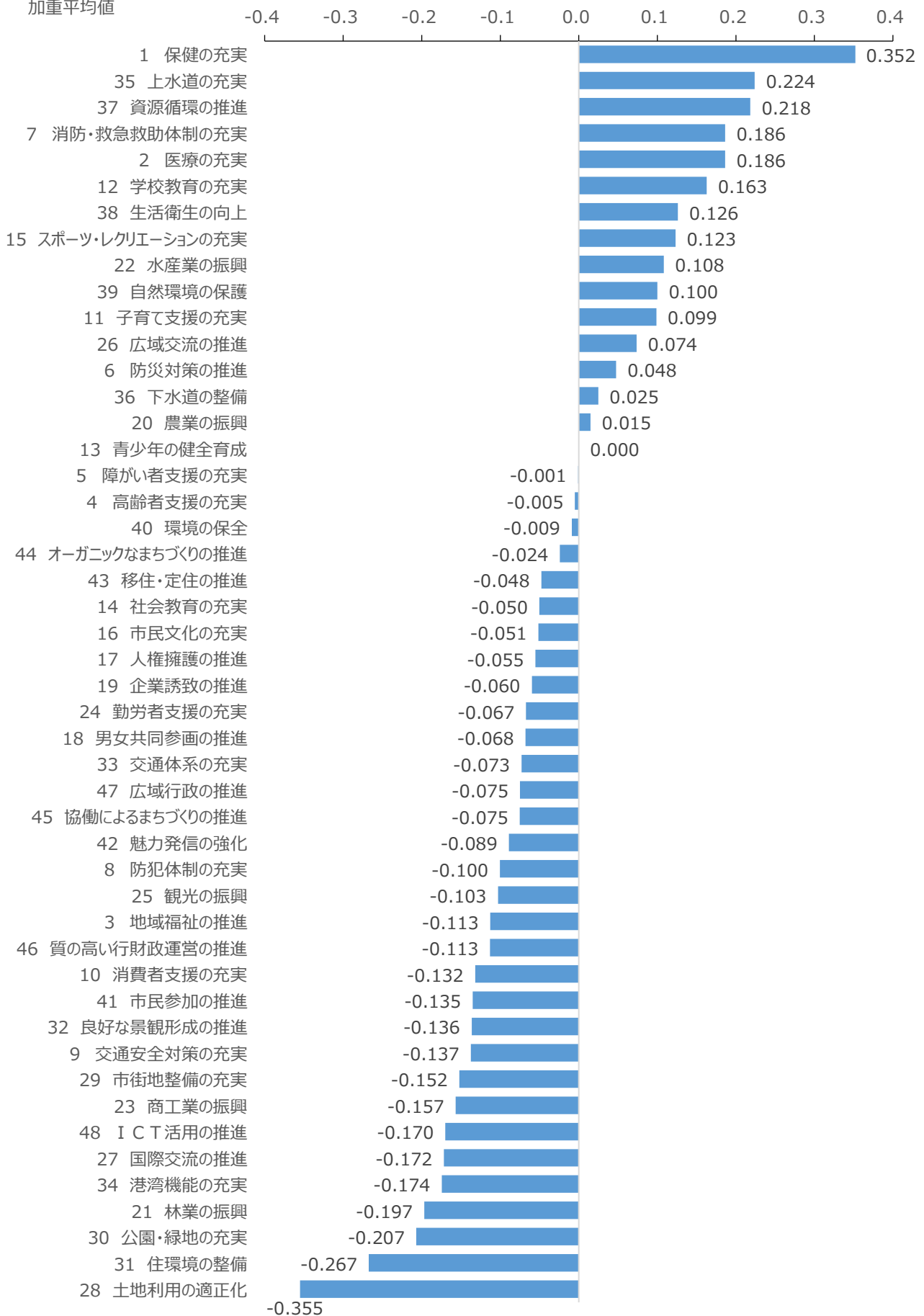
一方、「28 土地利用の適正化」が－0.355で最も低く、次いで「31 住環境の整備」(－0.267)、「30 公園・緑地の充実」(－0.207)、「21 林業の振興」(－0.197)、「34 港湾機能の充実」(－0.174)の順となっている。

今後の優先度の加重平均値は、「2 医療の充実」が1.219で最も高く、次いで「6 防災対策の推進」(1.156)、「33 交通体系の充実」(1.078)、「9 交通安全対策の充実」(1.069)「8 防犯体制の充実」(1.033)の順となっている。

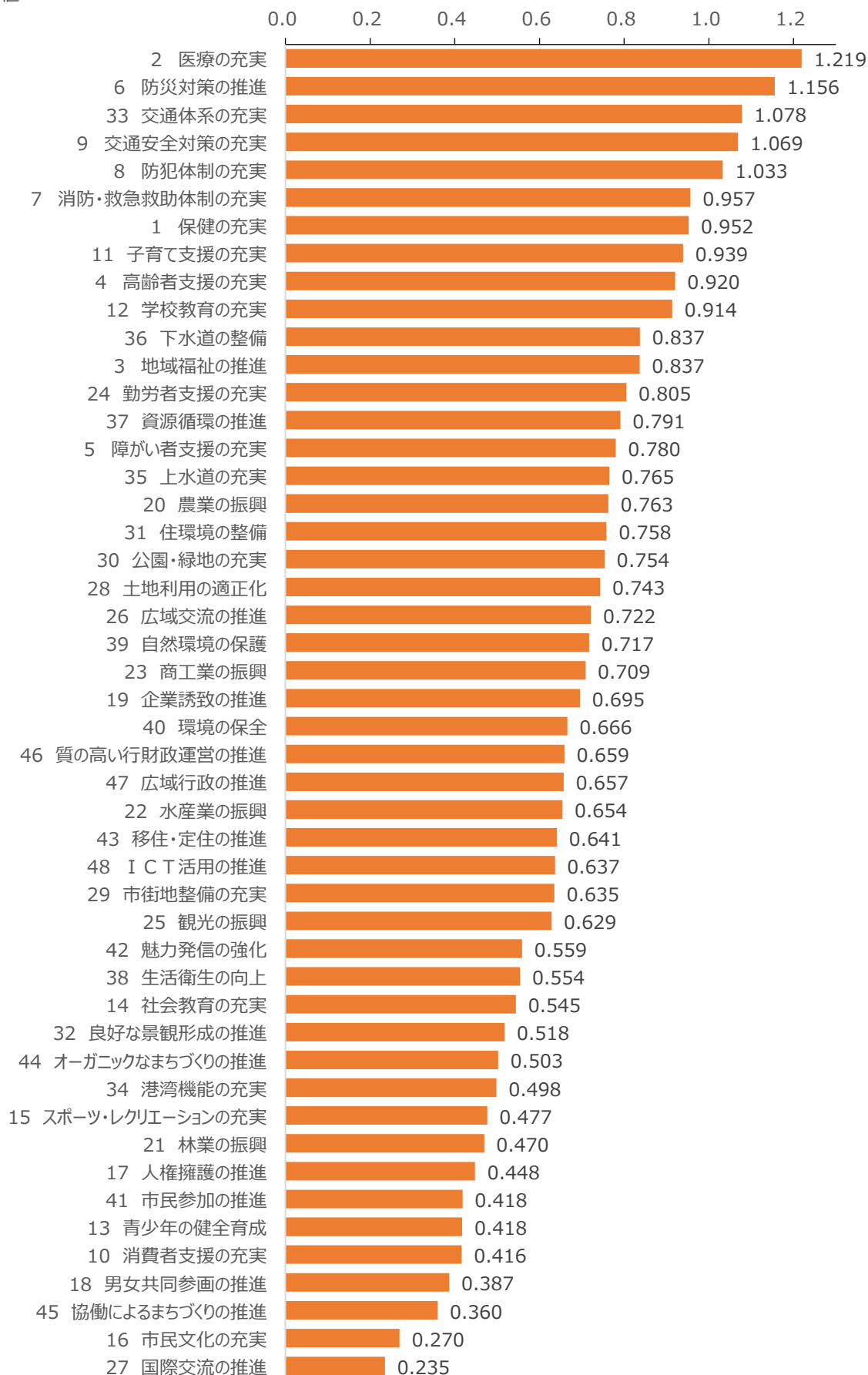
一方、「27 国際交流の推進」が0.235で最も低く、次いで「16 市民文化の充実」(0.270)、「45 協働によるまちづくりの推進」(0.360)、「18 男女共同参画の推進」(0.387)、「10 消費者支援の充実」(0.416)の順となっている。

現在の満足度

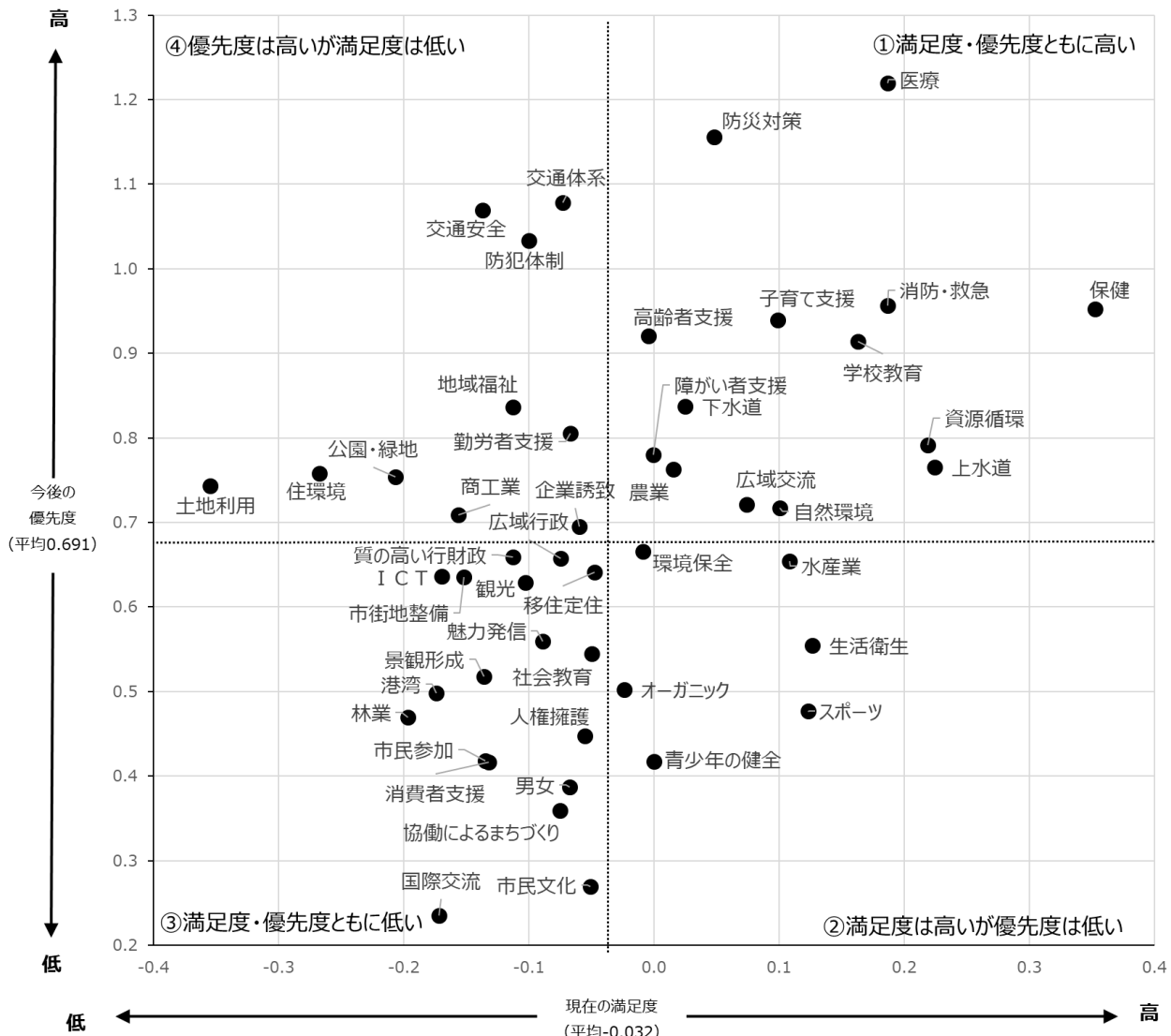
加重平均値



今後の優先度
加重平均値



(3) 現在の満足度と今後の優先度の相関



(※) 作図の便宜上、29～34ページに示した48項目の行政サービスの項目名を省略して示している。

31～33ページで示した、木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度の加重平均値を、現在の満足度を横方向・今後の優先度を縦方向にとって、相関関係を示した。

現在の満足度の加重平均値48項目の平均（-0.032）より高い項目を「満足度が高い」、低い項目を「満足度が低い」とした。また、今後の優先度の加重平均値48項目の平均（0.691）より高い項目を「優先度が高い」、低い項目を「優先度が低い」とし、これらを組み合わせて、以下の①～④に分類した。

「①満足度・優先度ともに高い」行政サービスは14項目である。

「②満足度は高いが優先度は低い」行政サービスは6項目である。

「③満足度・優先度ともに低い」行政サービスは18項目である。

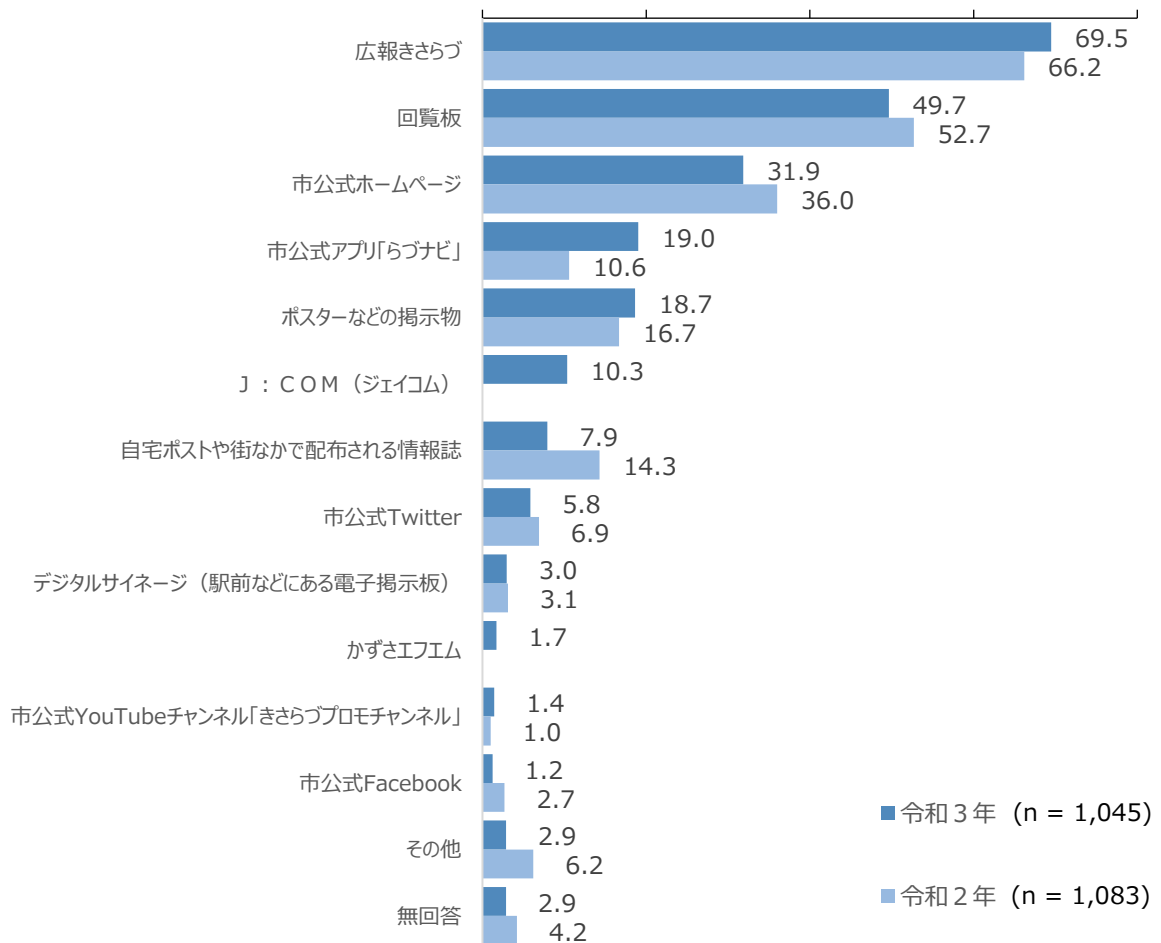
「④優先度が高いが満足度は低い」行政サービスは10項目あり、中でも「交通体系の充実」、「交通安全対策の充実」、「防犯体制の充実」の3項目は特に今後の優先度が高くなっていることから、今後の重要施策になると考えられる。

5. 木更津市の情報について

(1) 木更津市に関する情報の入手方法

問14. あなたは普段、木更津市に関する情報をどのような方法で得ていますか。

(当てはまるものすべてに✓)



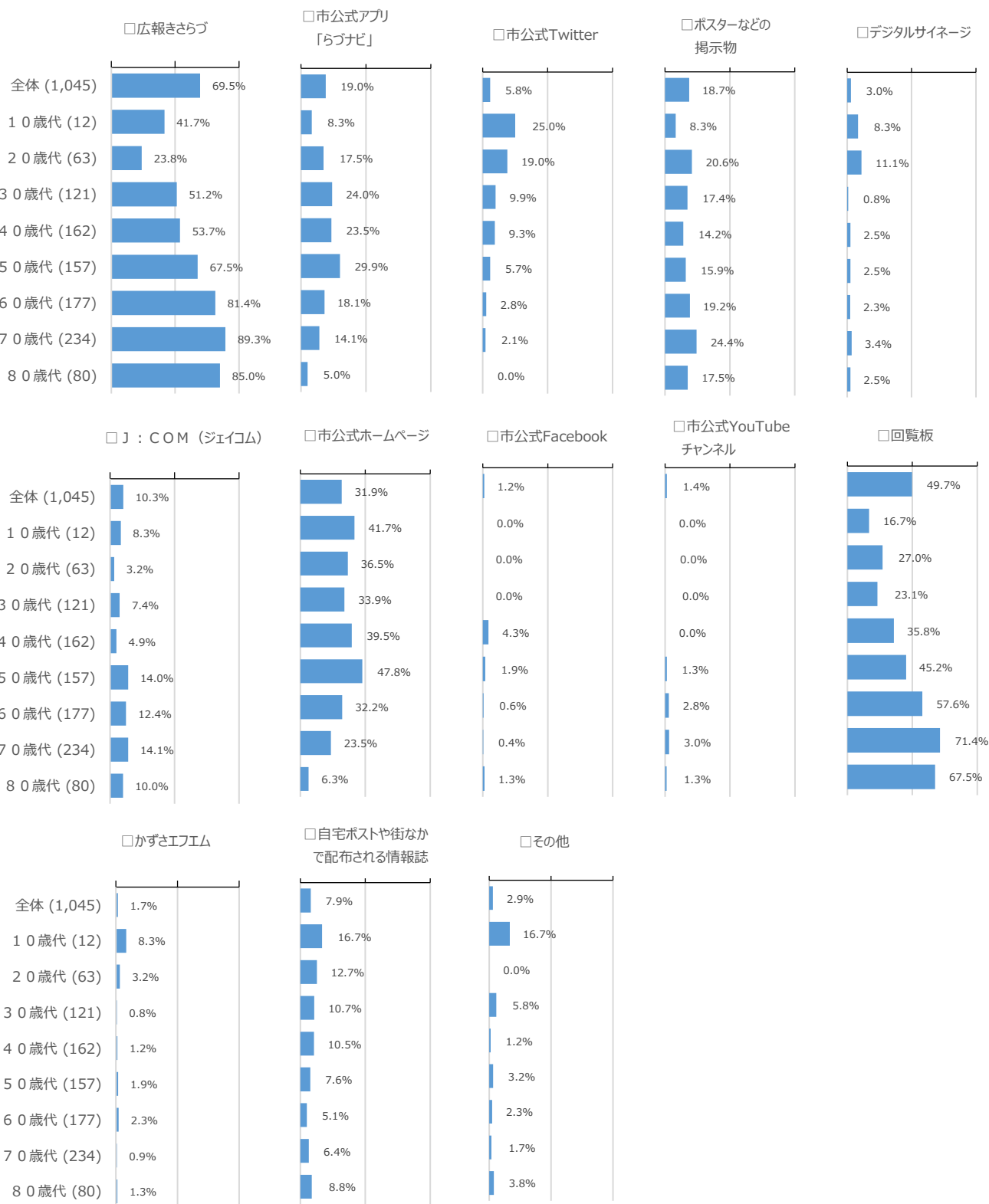
(※) 「J:COM (ジェイコム)」、「かずさエフエム」の2つは、今回調査で追加した選択肢である。

木更津市に関する情報の入手方法については、「広報きさらづ」が69.5%で最も高く、次いで「回覧板」(49.7%)、「市公式ホームページ」(31.9%)、「市公式アプリ「らづナビ」」(19.0%)「ポスターなどの掲示物」(18.7%)、「J:COM (ジェイコム)」(10.3%)、「自宅ポストや街なかで配布される情報誌」(7.9%)の順となっている。

令和2年調査との比較は、一部の選択肢が追加されているため参考にとどまるが、「市公式アプリ「らづナビ」」が8.4ポイント、「広報きさらづ」が3.3ポイント、「ポスターなどの掲示物」が2.0ポイント、それぞれ増加している。

一方、「自宅ポストや街なかで配布される情報誌」が6.4ポイント、「市公式ホームページ」が4.1ポイント、「回覧板」が3.0ポイント、それぞれ減少している。

[年齢別]



年齢別でみると、「広報きさらづ」は70歳代が89.3%、80歳代が85.0%、60歳代が81.4%と高くなっている。「回覧板」は70歳代が71.4%、80歳代が67.5%、60歳代が57.6%と高くなっている。「市公式ホームページ」は50歳代が47.8%、40歳代が39.5%、20歳代が36.5%と高くなっている。「市公式アプリ「らづナビ」」は50歳代が29.9%、30歳代が24.0%、40歳代が23.5%と高くなっている。

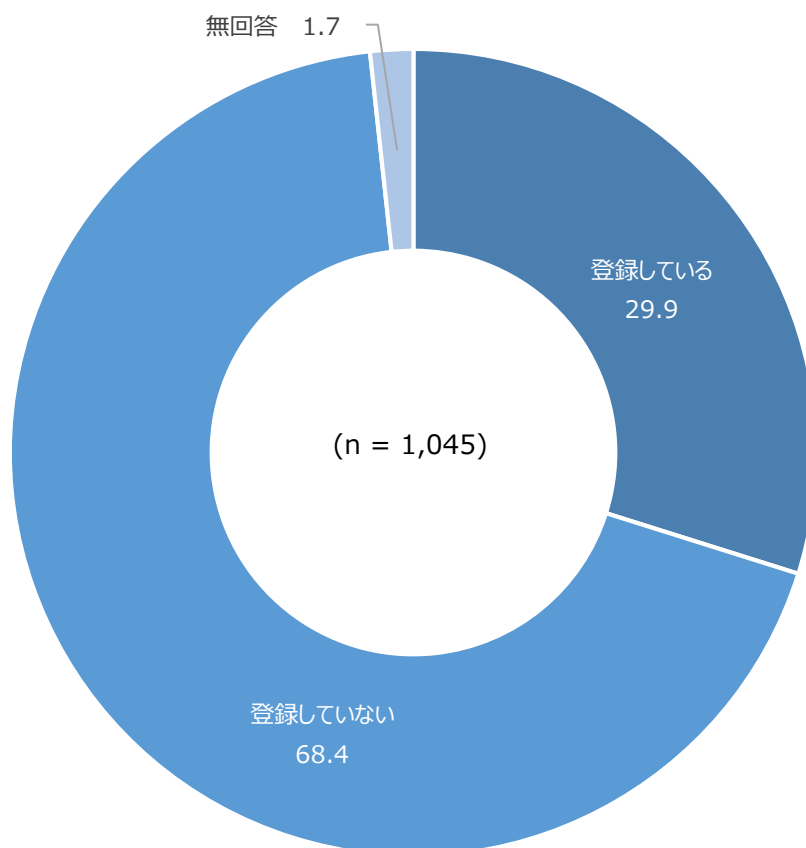
(2)「きさらづ安心・安全メール」の登録状況

問15. 木更津市では、安心して安全に暮らせるまちづくりをめざして、「きさらづ安心・安全メール」を配信していますが、あなたは「きさらづ安心・安全メール」を登録していますか。

(✓は1つだけ)

(きさらづ安心・安全メールとは?)

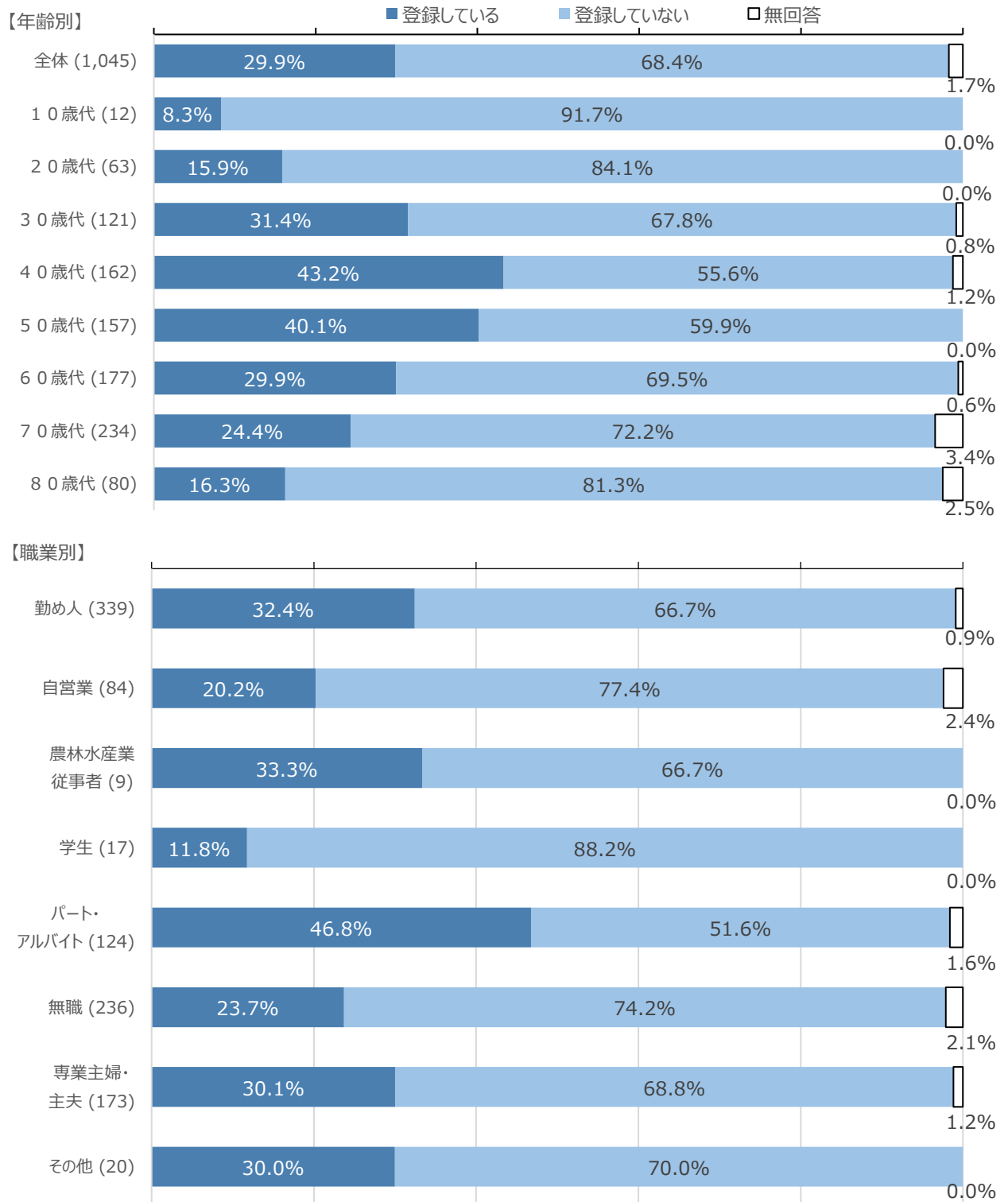
携帯電話、スマートフォン、パソコンで登録されたメールアドレスあてに、防災情報、火災情報、不審者情報、防犯情報、生活安心情報など緊急性の高い情報を配信しています。



「きさらづ安心・安全メール」の登録状況については、「登録している」が29.9%、「登録していない」は68.4%となっている。

前回の調査(R2)では「登録している」が30.1%、「登録していない」が67.2%であり、大きな差異は見られない

【年齢別、職業別】

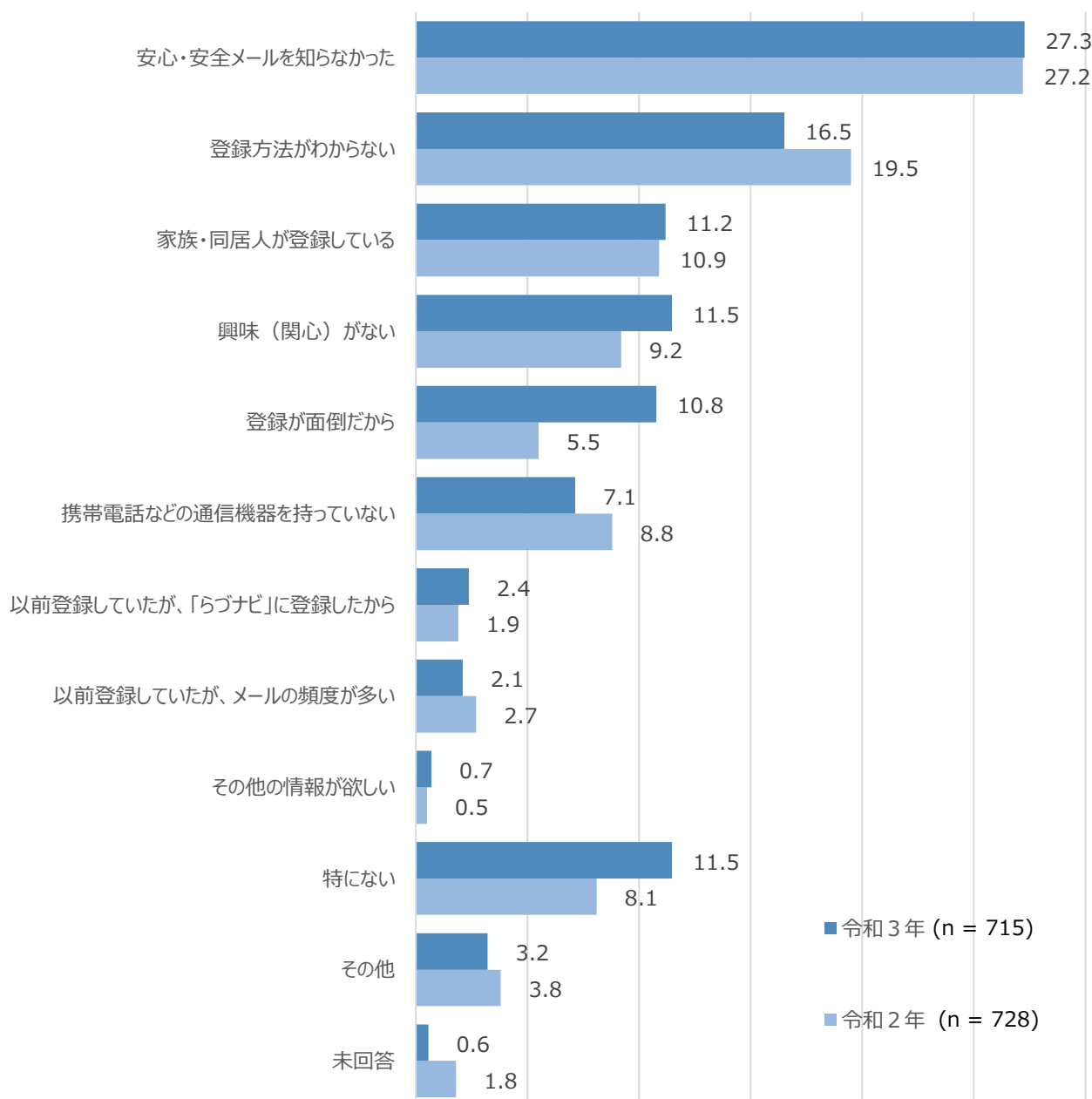


年齢別でみると、「登録している」は40歳代が43.2%、50歳代が40.1%、30歳代が31.4%と高くなっている。「登録していない」は20歳代が84.1%、80歳代が81.3%、70歳代が72.2%と高くなっている。

職業別でみると、「登録している」はパート・アルバイトが46.8%と高くなっている。「登録していない」は自営業が77.4%と高くなっている。

(3)「きさらづ安心・安全メール」に登録していない理由

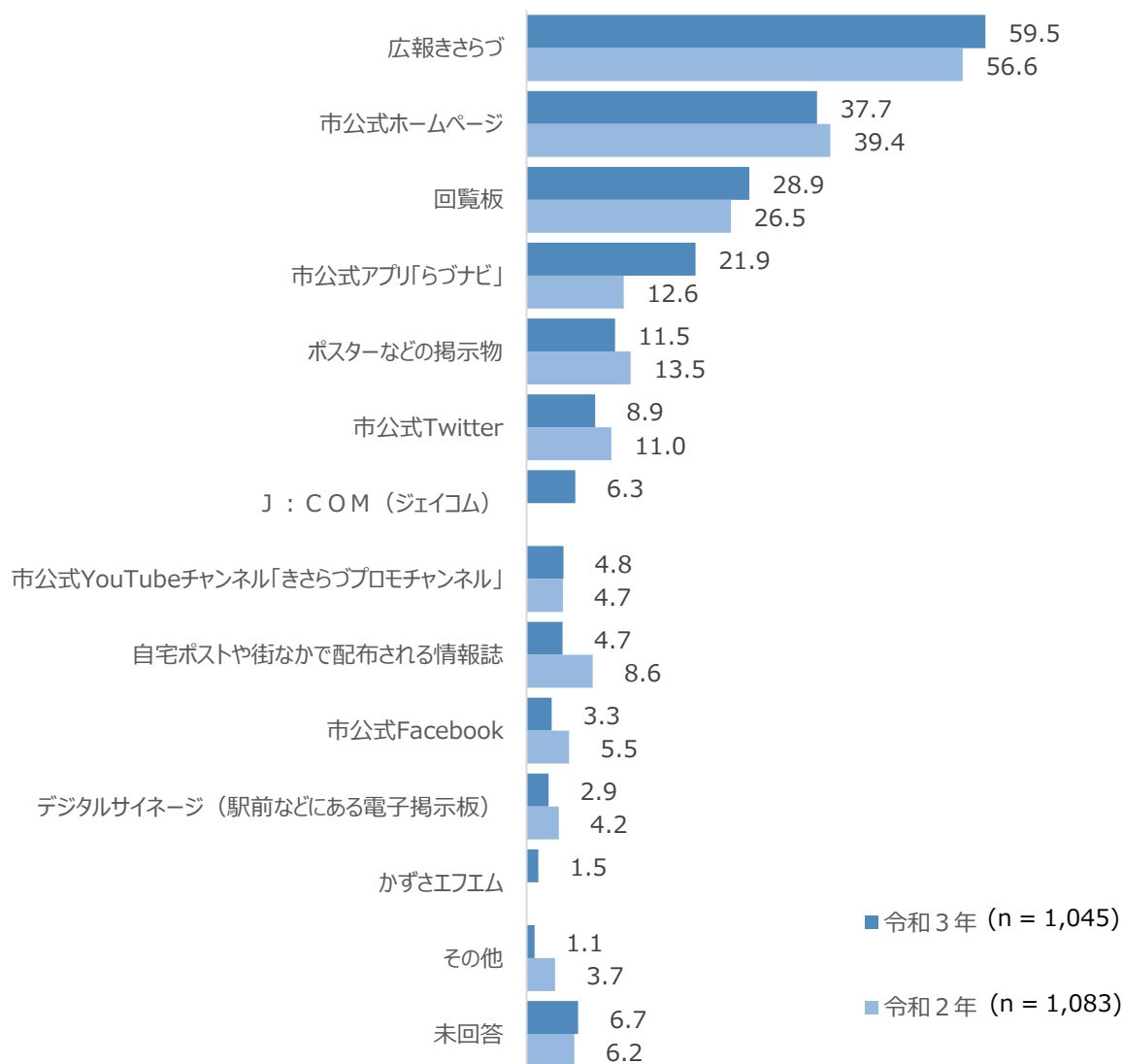
問15-1. 問15で、「登録していない」を選んだ方に、お聞きします。
登録していない理由にもっとも近いのはどれですか。(✓は1つだけ)



「きさらづ安心・安全メール」に登録していない理由については、「安心・安全メールを知らなかった」が27.3%で最も高く、次いで「登録方法がわからない」（16.5%）、「興味（関心）がない」（11.5%）、「家族・同居人が登録している」（11.2%）、「登録が面倒だから」（10.8%）の順となっている。

(4) 木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体

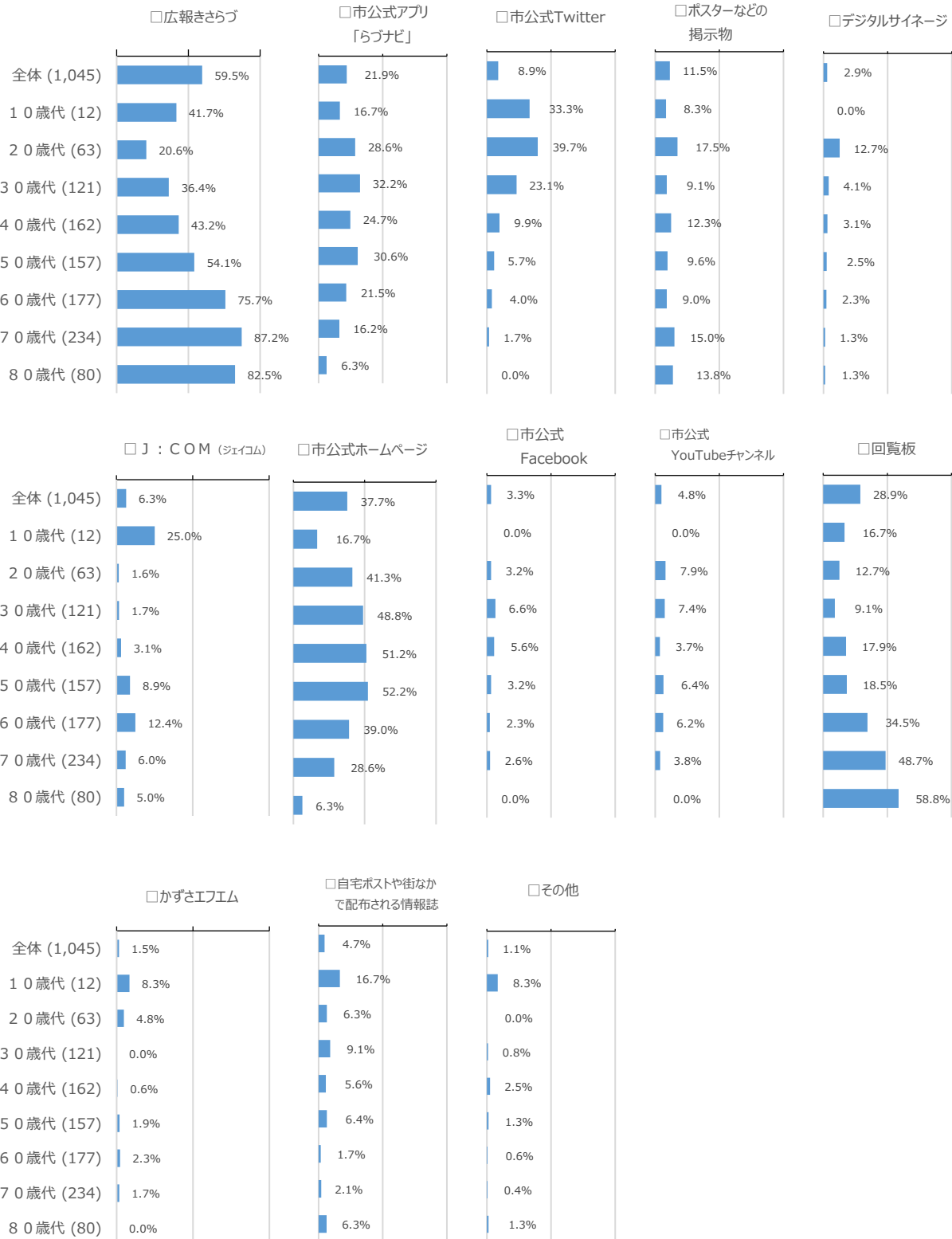
問16. 木更津市に関する情報を発信する媒体について、次の中から情報をより充実してほしいものは何ですか（✓は3つまで）



(※) 「J:COM (ジェイコム)」、「かずさエフエム」の2つは、今回調査で追加した選択肢である。

木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体については、「広報きさらづ」が59.5%で最も高く、次いで「市公式ホームページ」(37.7%)、「回覧板」(28.9%)、「市公式アプリ「らぶナビ」」(21.9%)、「ポスターなどの掲示物」(11.5%)の順となっている。

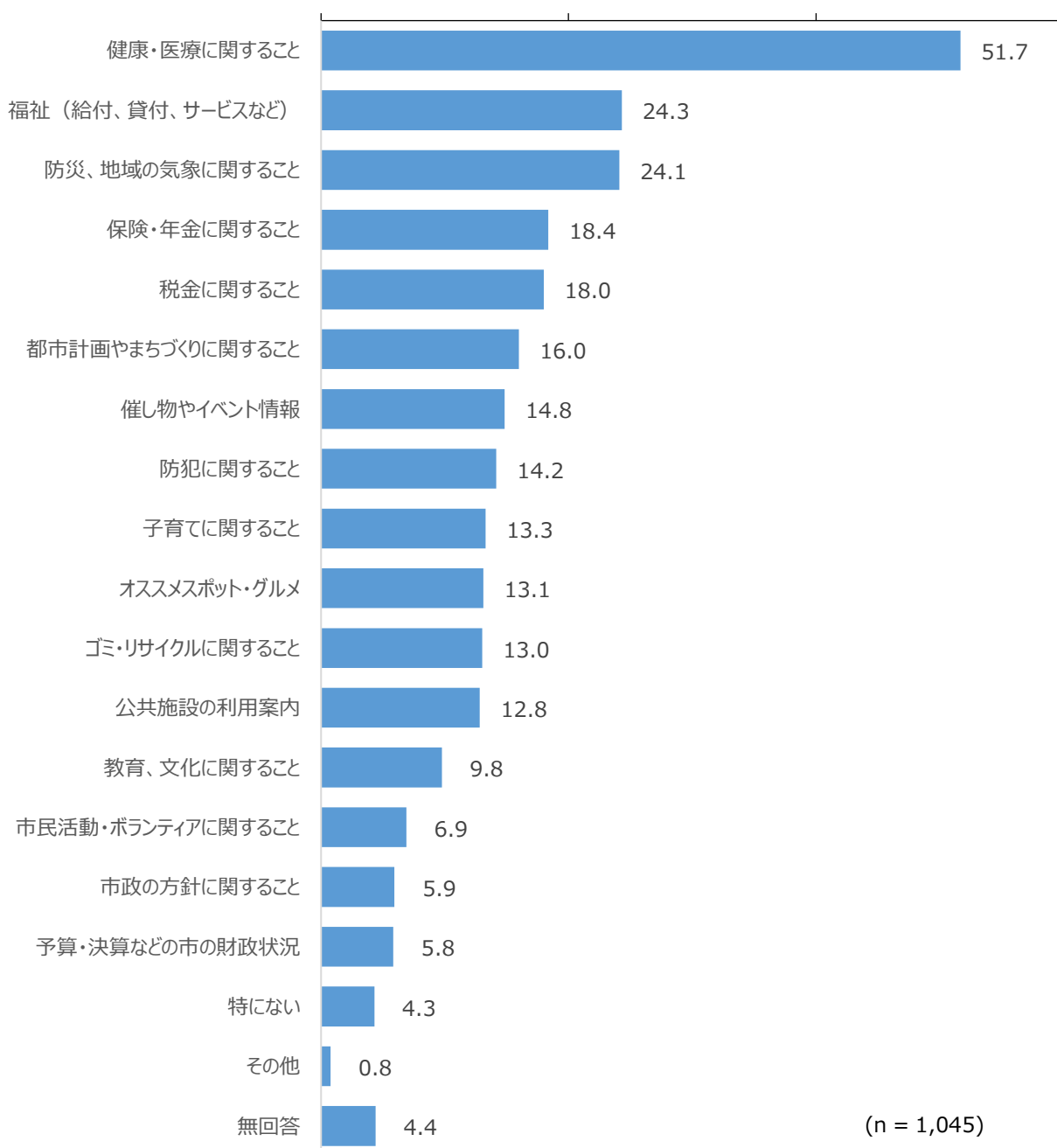
[年齢別]



年齢別でみると、「広報きさらづ」は70歳代が87.2%、80歳代が82.5%、60歳代が75.7%と高くなっている。「市公式ホームページ」は50歳代が52.2%、40歳代が51.2%、30歳代が48.8%と高くなっている。「回覧板」は80歳代が58.8%、70歳代が48.7%と高くなっている。「市公式アプリ「らづナビ」」は30歳代が32.2%、50歳代が30.6%と高くなっている。「ポスターなどの掲示物」は20歳代が17.5%、70歳代が15.0%と高くなっている。

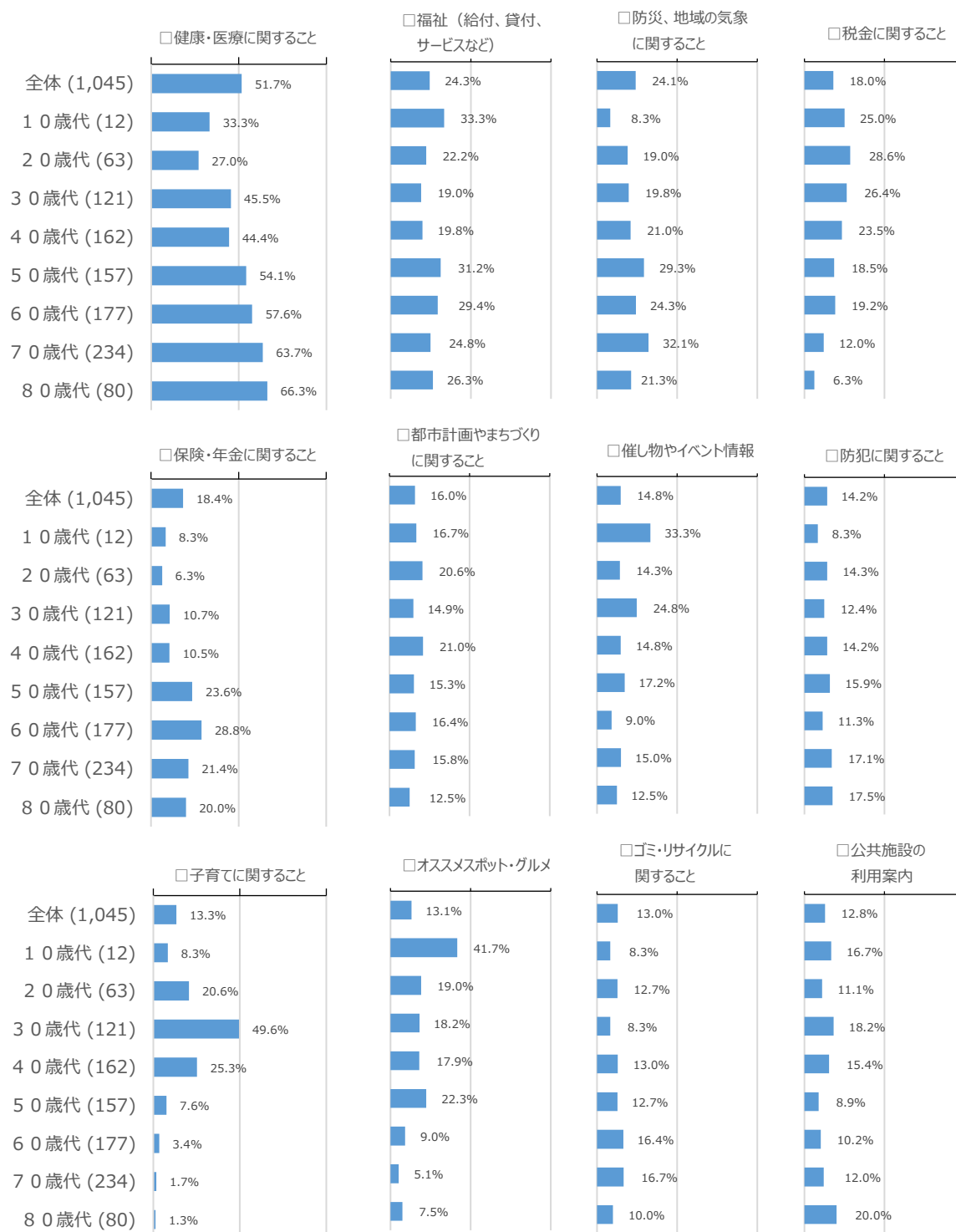
（５）木更津市に関する情報でより充実して欲しい内容

問17. 木更津市に関する情報で、より充実して発信してほしい情報は何ですか。（✓は3つまで）



木更津市に関する情報で知りたいことについては、「健康・医療に関すること」が51.7%で最も高く、次いで「福祉（給付、貸付、サービスなど）」（24.3%）、「防災、地域の気象に関すること」（24.1%）、「保険・年金に関すること」（18.4%）、「税金に関すること」（18.0%）の順となっている。

〔年齢別〕（上位12項目）



年齢別でみると、「健康・医療に関すること」は80歳代が66.3%、70歳代が63.7%、60歳代が57.6%と高くなっている。「福祉（給付、貸付、サービスなど）」は50歳代が31.2%、60歳代が29.4%と高くなっている。「防災、地域の気象に関すること」は70歳代が32.1%、50歳代が29.3%と高くなっている。「保険・年金に関すること」は60歳代が28.8%、50歳代が23.6%と高くなっている。「子育てに関すること」は30歳代が49.6%、40歳代が25.3%、20歳代が20.6%と高くなっている。

Ⅲ. 調査結果の概要と考察

1. 木更津市へのイメージについて

- 木更津市に対する愛着や誇りについては、「持っている」または「少しは持っている」と答えた方は78.7%で、「都心、東京湾岸の各都市にアクセスしやすい交通利便性」が71.8%、「農産物や地元の特産品」が27.8%、「木更津港まつり、こどもまつりなどの地域のにぎわい」が25.6%、「知名度の高さ」が23.7%と高くなっている。
- 木更津市の住みごこちについては、「満足している」または「おおむね満足している」と回答した方は69.3%であった。一方で、「やや不満である」または「不満である」と回答した方は11.0%であった。
- 住んでいて良いところについては、「住み慣れていて愛着がある」が58.0%、「気候、豊かな緑などの自然環境」が46.5%、「日常生活（買い物、レジャーなど）が便利」が39.9%と高くなっていた。一方で、住んでいて良くないところについては、「交通の便」が32.1%、「道路、上下水道などの生活環境」が26.9%、「公民館、図書館などの社会教育・文化施設」が21.3%と高くなっている。
- 定住意向については、「ずっと住み続けたい」または「当分は住んでいたい」と答えた方は81.3%であった。一方、「やがては転出したい」または「転出するつもり」と答えた方は、居住期間が3年未満の方が10.0%、居住期間が3～5年の方が8.1%と高くなっている。

2. 木更津市の取り組みについて

(1) 「オーガニックなまちづくり」について

- 「オーガニックなまちづくり」の認知度について、令和2年調査との比較では、「聞いたことはあるが、よく分からない」が5.2ポイント、「理解している」が1.9ポイント、「理解し、自ら行動している」が0.4ポイント増加している一方、「はじめて聞いた」が5.9ポイント減少しており、施策認知度はやや向上している。
- 「はじめて聞いた」は20歳代が65.1%、居住期間が3年未満の方が55.0%、居住期間が3～5年の方が51.0%と高くなっていることから、若年層や転入者に対する広報活動を積極的に推進し、市民の施策認知度を高めていく必要があると考えられる。

(2) 市民活動について

- 市民活動の参加状況については、「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」が38.5%となっている。
- 市民活動に参加している方の割合としては、60歳代が22.0%と高くなっている。また「機会や時間がないので参加していないが、参加してみたいと思う」は50歳代が48.4%、30歳代が45.5%と高くなっているため、市民活動に参加する機会を増やす取組や情報提供を積極的に進める必要があると考えられる。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響下において、今後の市に期待される取組について

- 新型コロナウイルス感染症の影響下において、今後の市に期待される取組としては、「正確な情報が届くようにしてほしい」が56.1%、「医療提供体制の構築・予防・健康づくりの推進」が55.1%、「感染症対策、防災対策の充実」が53.7%などとなっている

3. 行政サービスに関する満足度、今後の優先度について

- 木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度の評価が最も高いのは「保健の充実」で、次いで「上水道の充実」、「資源循環の推進」となっている。また、今後の優先度の評価が最も高いのは「医療の充実」で、次いで「防災対策の推進」、「交通体系の充実」などとなっている。
- 木更津市の行政サービス48項目に関する現在の満足度と今後の優先度の相関関係をみると、「優先度は高いが満足度は低い」に分類された行政サービスについて、今回と令和2年調査で重複するものは「交通安全対策の充実」、「防犯体制の充実」、「土地利用の適正化」、「住環境の整備」、「公園・緑地の整備」、「地域福祉の推進」、「勤労者支援の充実」、「企業誘致の推進」の8項目であった。市民満足度の向上を図るためには、これらの施策の重点的な取組が必要であると考えられる。

4. 木更津市の情報について

- 木更津市に関する情報の入手方法については、「広報きさらづ」が69.5%で最も高く、次いで「回覧板」が49.7%、「市公式ホームページ」が31.9%などとなっている。令和2年調査と比較すると、「市公式アプリ「らづナビ」」が8.4ポイント増加し、「自宅ポストや街なかで配布される情報誌」が6.4ポイント減少している。
- 木更津市に関する情報発信をより充実してほしい媒体については、「広報きさらづ」が59.5%で最も高く、次いで「市公式ホームページ」が37.7%、「回覧板」が28.9%などとなっている。年齢別でみると、「広報きさらづ」は60歳代以上の年代で、「市公式ホームページ」は50歳代以下の年代で割合が高くなっている。
- 木更津市に関する情報で、より充実してほしい情報については、「健康・医療に関すること」が51.7%で最も高く、次いで「福祉（給付、貸付、サービスなど）」が24.3%、「防災、地域の気象に関すること」が24.1%などとなっている。年代別で見ると、「健康・医療に関すること」は30歳代以上の幅広い年代で、「子育てに関すること」は20歳代から40歳代の年代で、「保険・年金に関すること」が50歳代以上の年代で割合が高くなっている。
- 「きさらづ安心・安全メール」について、登録している方は29.9%となっており、特に40歳代が43.2%、50歳代が40.1%、30歳代が31.4%と高くなっている。また、登録していない理由については、「安心・安全メールを知らなかった」が27.3%、「登録方法がわからない」が16.5%などとなっており、認知度を高める取組や、登録方法のサポート体制の充実が必要であると考えられる。

魅力あるまちづくりに関する市民アンケート

報 告 書

令和4年3月

木更津市企画部企画課

千葉県木更津市富士見一丁目2番1号

電 話 (0438) 23-7468

FAX (0438) 23-9338

メール kikaku@city.kisarazu.lg.jp